



貴族

と 奴隸

の入れ替わり

〜全てを手に入れた男〜

完全版

本書の楽しみ方

TS要素を最大限に楽しんでいただく為、二人が絡むHシーンを下記のようにそれぞれの視点(POV)から描いております。その為、見開き表示での閲覧をおすすめしております。もちろん、単一ページでの閲覧も可能です。

複数の環境下で確認を行っておりますが、万が一、ページレイアウトが崩れるという事がございましたら閲覧環境をご報告いただくと嬉しいです。

連絡先

twitter:@iwashitan

mail:info@iwashitan.com




女性(中身男性)視点

男性(中身女性)視点

貴族と奴隸の入れ替わり
〜全てを手に入れた男〜

Pov.ver




私は王家に仕える
由緒ある「トラウ家」
の出身だった。

ある日、お父様は
謀反の疑いを
かけられ



極刑は
免れたものの流罪。

そして、
トラウ家は
没落した。



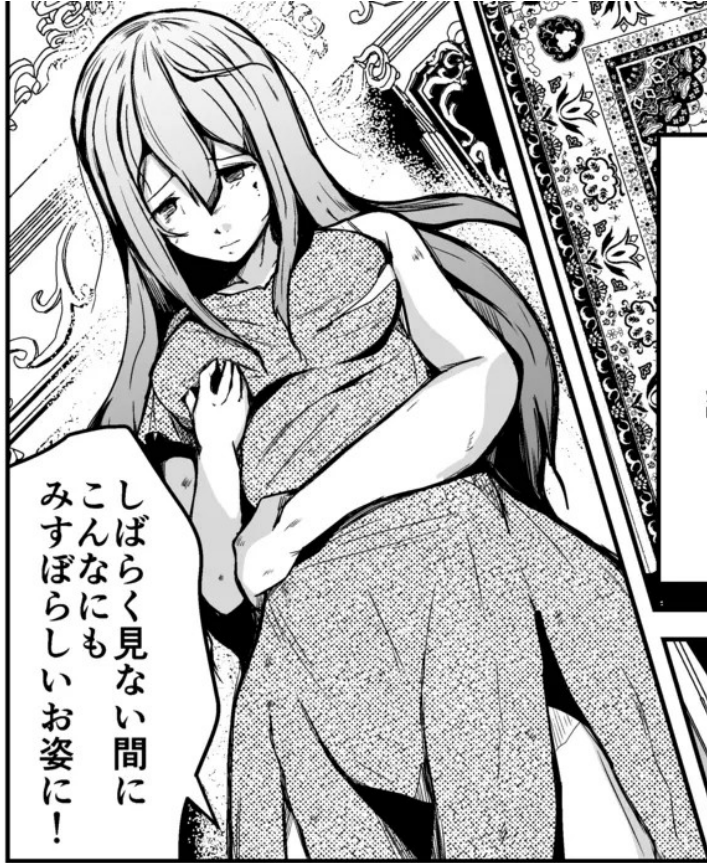
何者かの
謀略である事は
間違いないのに

私の力では
どうする事も
できなかつた。

路頭に迷い、
気づけば

私は

奴隷に
なっていた



私の主は
お父様のライバルと
称された
「イワシーロ卿」だった。





はっ！

おい！

それにしても
その格好は
いけませんな。

なんと
こんな男の
前で

裸体を晒し
そして

奴隷とはいえ
こんな姿で
働かせたくはない。

おお。
これはこれは。

Xッ

4/8

さすがに
美しい。

この国随一の美女と
謳われるだけの
事はある。ふひひ。

このような
姿を……！

ふひ。
仕事にも
色々種類があるからの。

もうすぐこの身体が
ワシのものに。

ふひひ。
ふひひ。

お前は黙って
ワシの命令に
従っていけばよいのだ。

あの……
この格好では
お仕事に支障が……。

何を
言ってるの……？

ところでラナ嬢。
知っておるか？

この世には
表に出ていない

魔術というものが
存在するのだが

—その中に

身体を入れ替える
契約魔術というものがある。

まさか……？

さて、ラナ嬢。
これから契約の元、

互いの身体を
入れ替える。

ワシがラナ嬢に。
ラナ嬢はワシに
なるのだ。



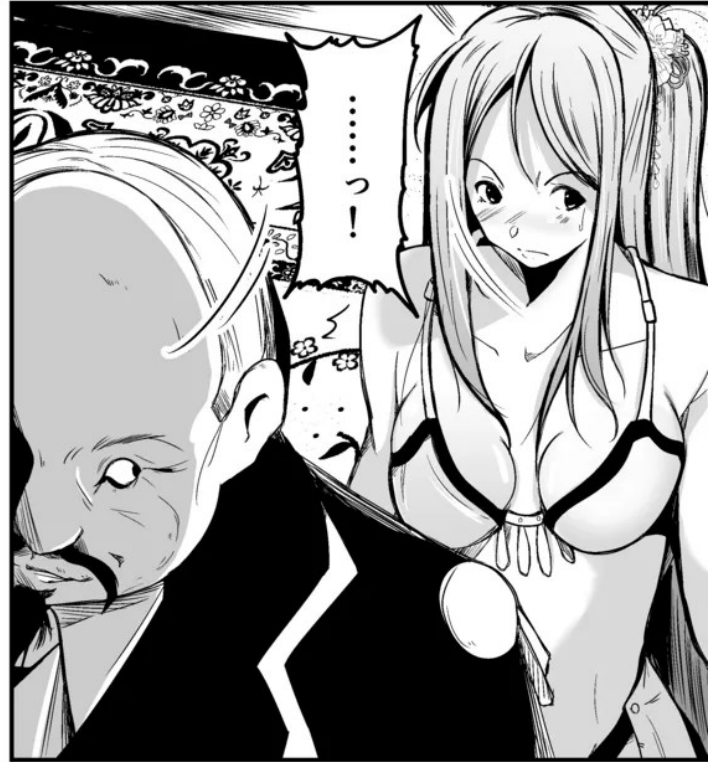
そんな！
それはできません！

奴隷のお前は
ワシの命令を
拒否できない。

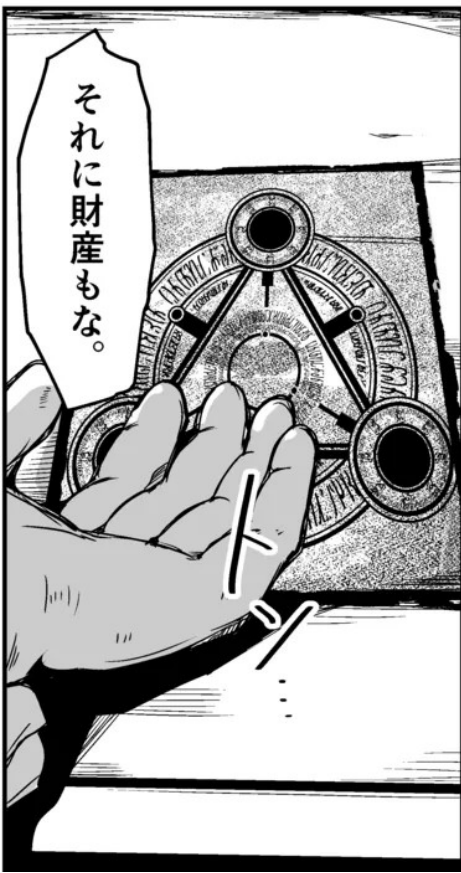
そのくらい
わかるだろう？



それにそんなに
悲観する事もないぞ。



……っ！



それに財産もな。



お前がワシに
なるといふ事は、

ワシを奴隷として
好き勝手
使えるという事。



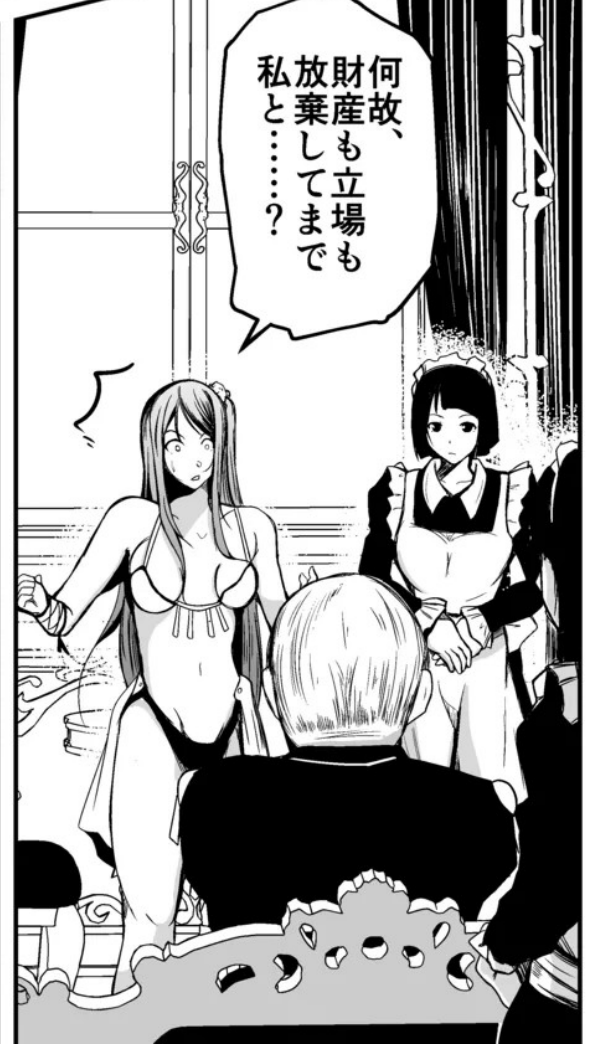
それまでは我慢していただくことになるが



契約上、立場の変更は14日体交換に履行される。



それでも悪い話ではなからう？



何故、財産も立場も放棄してまで私と……？



女の快感を知りたい。

全ての財を失ってでも……だ。

えっ!?

今まであらゆる女を抱いたが
どの女も
気持ちよさそうに
よがる。

声が漏れる程に……
そんなにも
気持ちが良いのか？
女というものは？
だから女の快感を
知ってみたい。

それに
ワシは女の容姿が
好きだ。
自分の醜い体を
捨てて女になりたいと
常に願っておった。



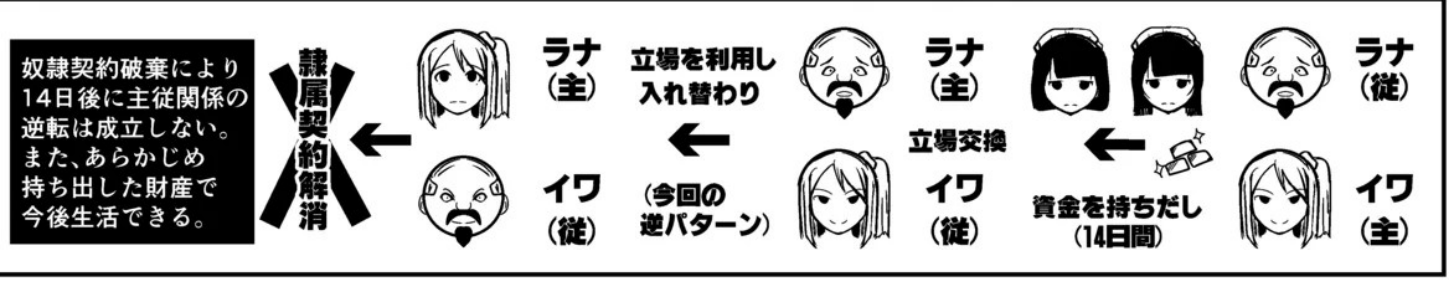
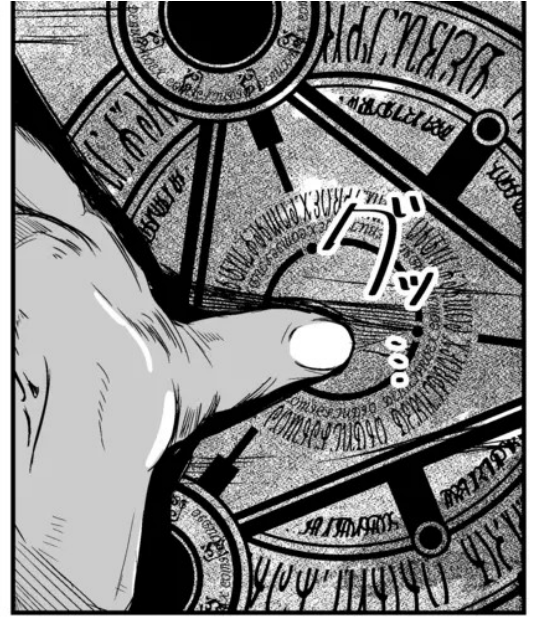
それだけの為に？

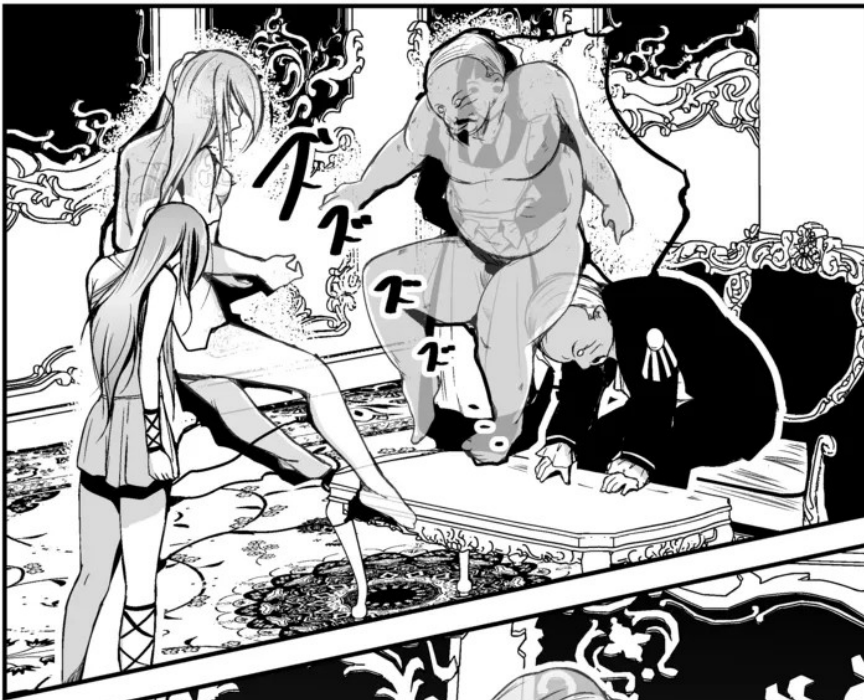
女の……しかも
絶世の美女と言われた
お前にはわかるまい！

それだけの為？

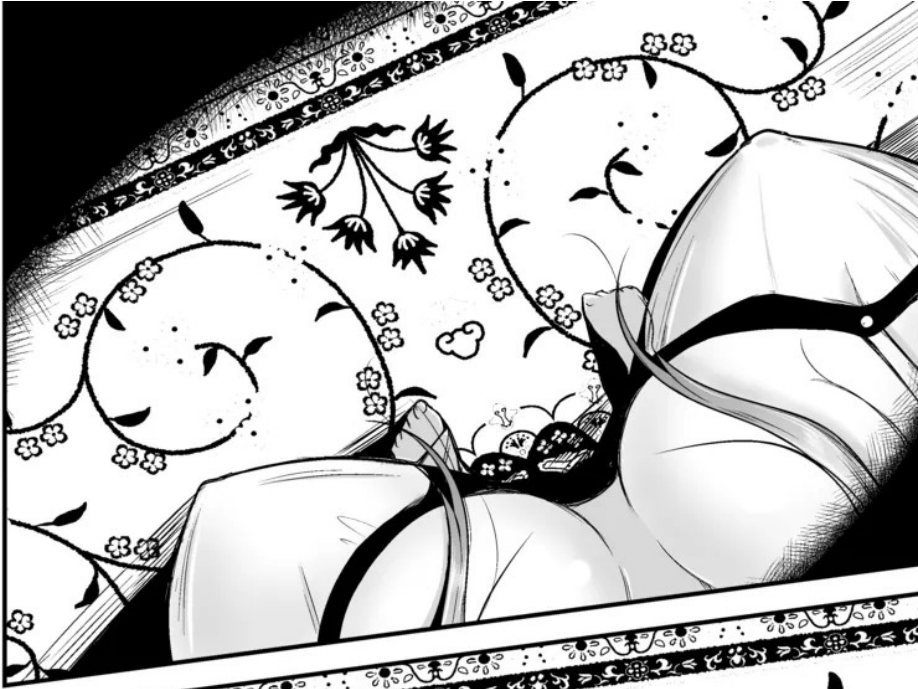
財だけでは
どうにもならないものが
あるという事を！











はあ。
これが女の……

スラリと伸びた脚

程よい弾力の胸

ラナの憧れた
嬢の身体。

そして……

ヒキ

ヒキ

ヒキ



これが女性器……。
ついに自分のものに。

ハァニ

ふひ。

ドキ

ドキ

ハァニ

ワシは本当に
女になったのだな。

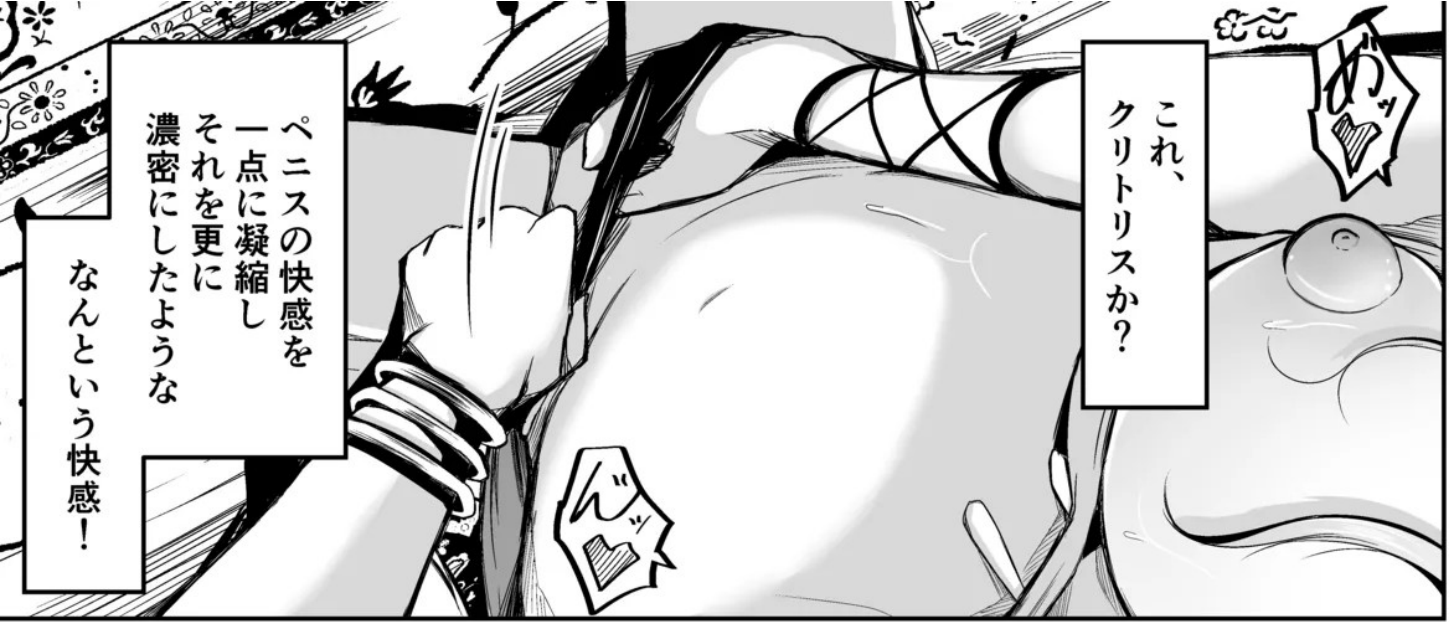
や……やめて。

クリッ

はっあぁあぁっ！

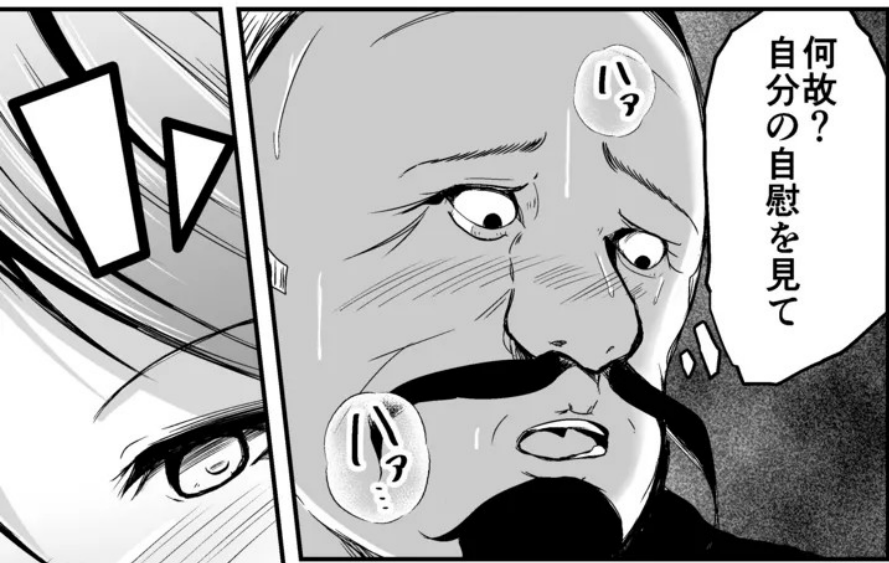
ガッ





これ、
クリトリスか？

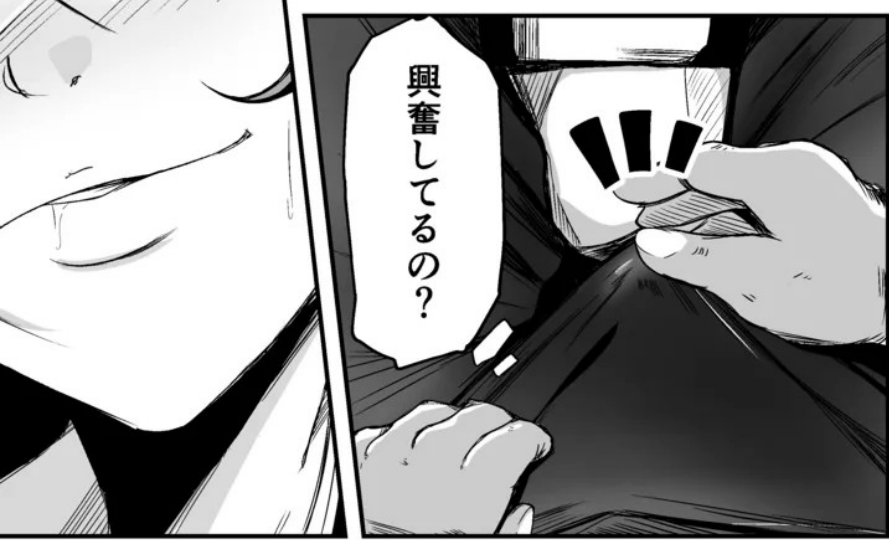
ペニスの快感を
一点に凝縮し
それを更に
濃密にしたような
なんという快感！



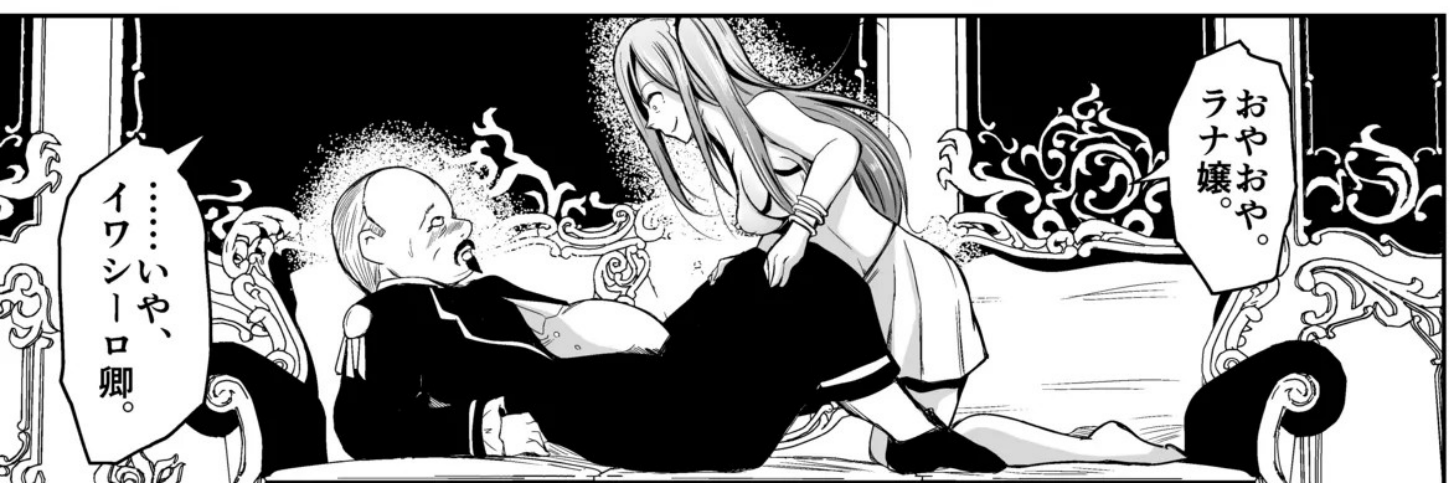
何故？
自分の自慰を見て



私、
どうしちゃったの？



興奮してるの？



おやおや。
ラナ嬢。

……いや、
イワシーロ卿。

見慣れたはずの
元自分の女性器に

随分と興奮を
覚えているようだね？

……まあ。

ワシのような
極上の女を目の前に

勃起するのは
男として
正常ではあるがね。

男として？
だ……誰がっ！

悪いが
少し待ちたまえ。

まだ、
ワシの方の準備が……

私のここ、
舐めてくださらない？

い……嫌っ！

しばあ

ああ。そうだわ。
イワシーロ卿。



私、一体何を？

一体何を
しているんだね？



嘘？
私、コイツが言う通り

違う。
お前は男として

自分自身を——

女^{ヲシ}を犯したいと
思っておる。



ククク。
随分とワシの
身体気に入ったようだね。

違う……！！
これは……っ！



一体何を
しているんだね？



初めて味わう
異性の性感の

違う。お前は男として



女を犯したいと
思っておる。

は！
は！
虜になっておるな？



ククク。
随分とワシの身体
気に入ったようだね。

違う……！
これは……っ！

ククク。
コイツもしかして

ククク。

心配せずとも

このままじゃ私、
本当に自分自身を

なのに何で……

これからワシの身体を

嫌……っ！

存分に……んっ……
楽しませてやるわ。

何で

ククク。
入ったあ……っ……♡

抵抗できないの？

ククク。

心配せずとも

は

ま

嫌……っ！

これからワシの身体を

存分に……んっ……
楽しませてやるわ。

勃起したペニスの
熱が段々と
内側に浸透していく！

ククク。
入ったあ……っ……♡

熱い！
ああっ！これが
挿れらる感覚っ！

何これ？
股間が温かい。

まるで男性器を
受け入れるように
吸い付いていく。

んっ
あひっ
んっ
あひっ
んっ
あひっ

んっ
あ

んっ
あ

んっ
あ

んっ
あ

んっ
あ

もうダメ。
我慢できないっ！

んっ
あ

んっ
あ

最初は
痛み、異物感。

だが、
それは徐々に薄れ

男性器を迎え入れる為、
順応していく。

その過程で膣が
キュッと締まり

その際に
押し寄せる快感は

あッ
ん

ズッ
ッ

ズッ
ッ

男には想像もできない
至上のものであり

更に乳房の柔らかさも
相まって

何も考えられ……？

ガッ
ッ

ん
ん



あぁ。
なんて柔らかい！



自分のタイミングで
動きたい！

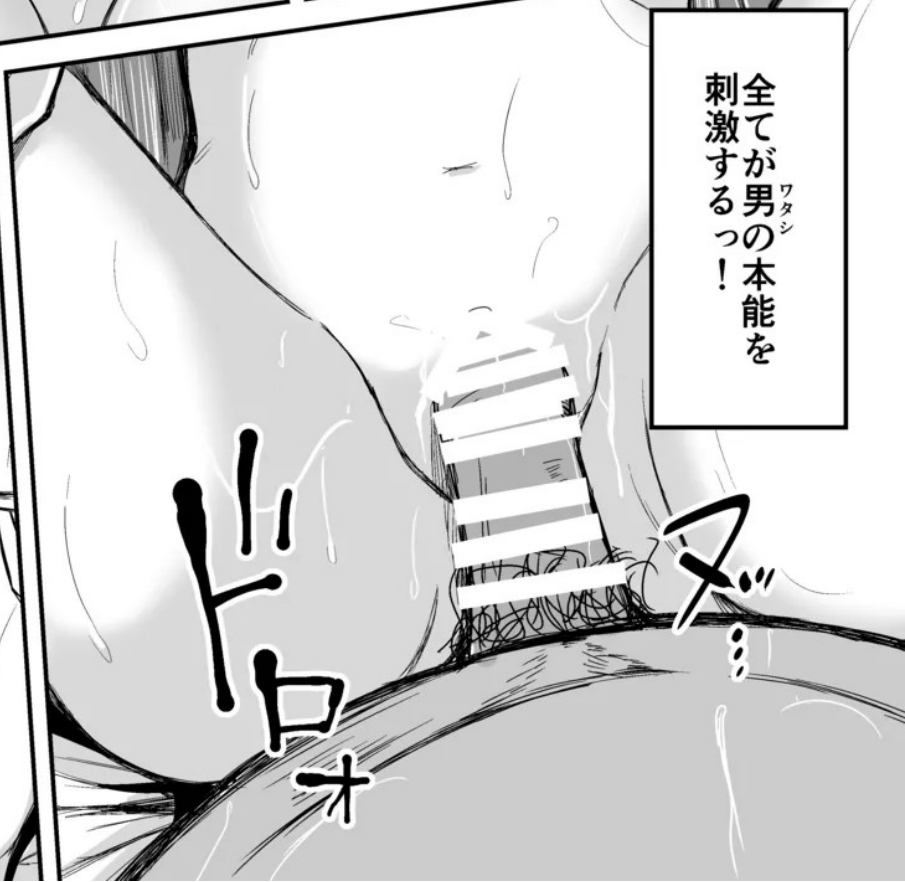


なんて艶やかな声！

んあっ……♡



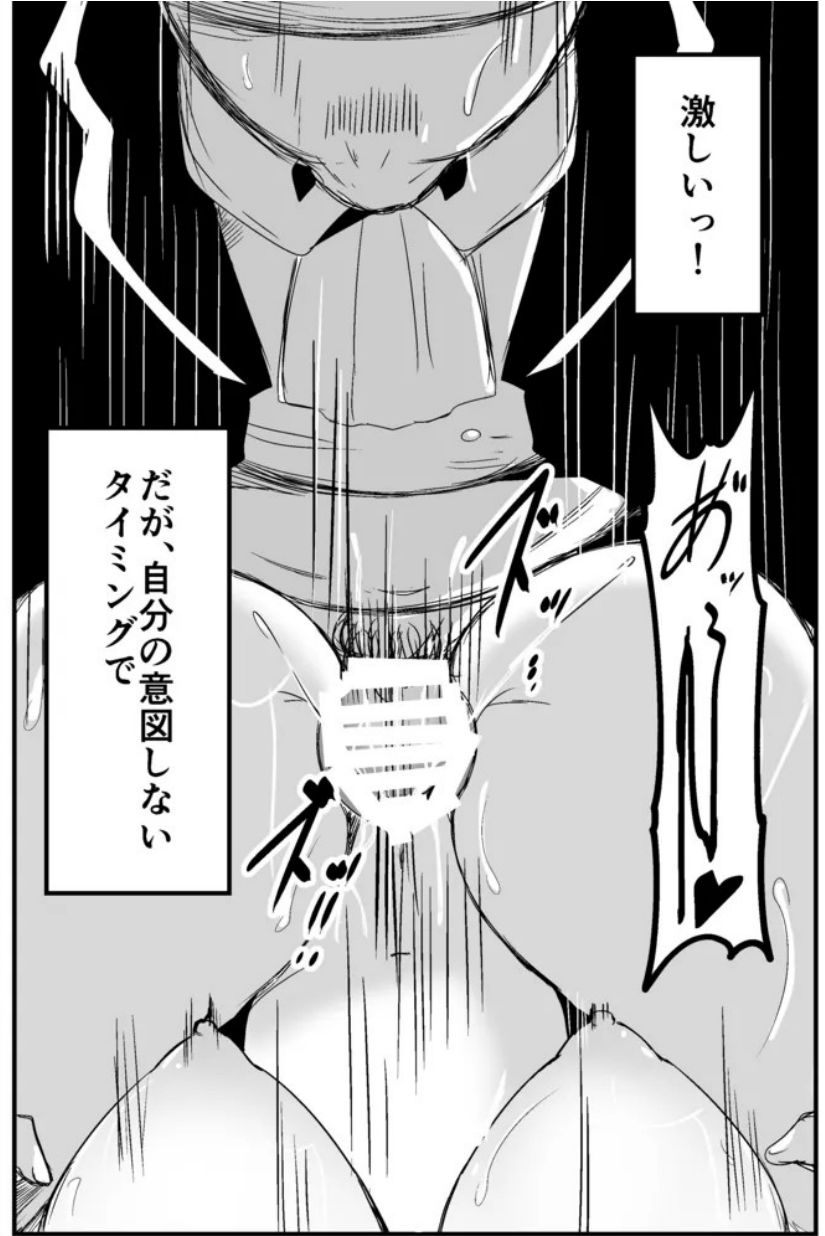
もっと！
もっと見せて！



全てが男の本能を
刺激するっ！



突きあげられるのも
たまたらぬ!



激しいっ!

だが、自分の意図しない
タイミングで



……?
何故止める?



もっと!
もっと突いてくれ!



ドロオ

あなた
私の全てを……!!

あーん

何かくるっ!
股間が熱く……

これが男性の欲望、
そして快感なの?

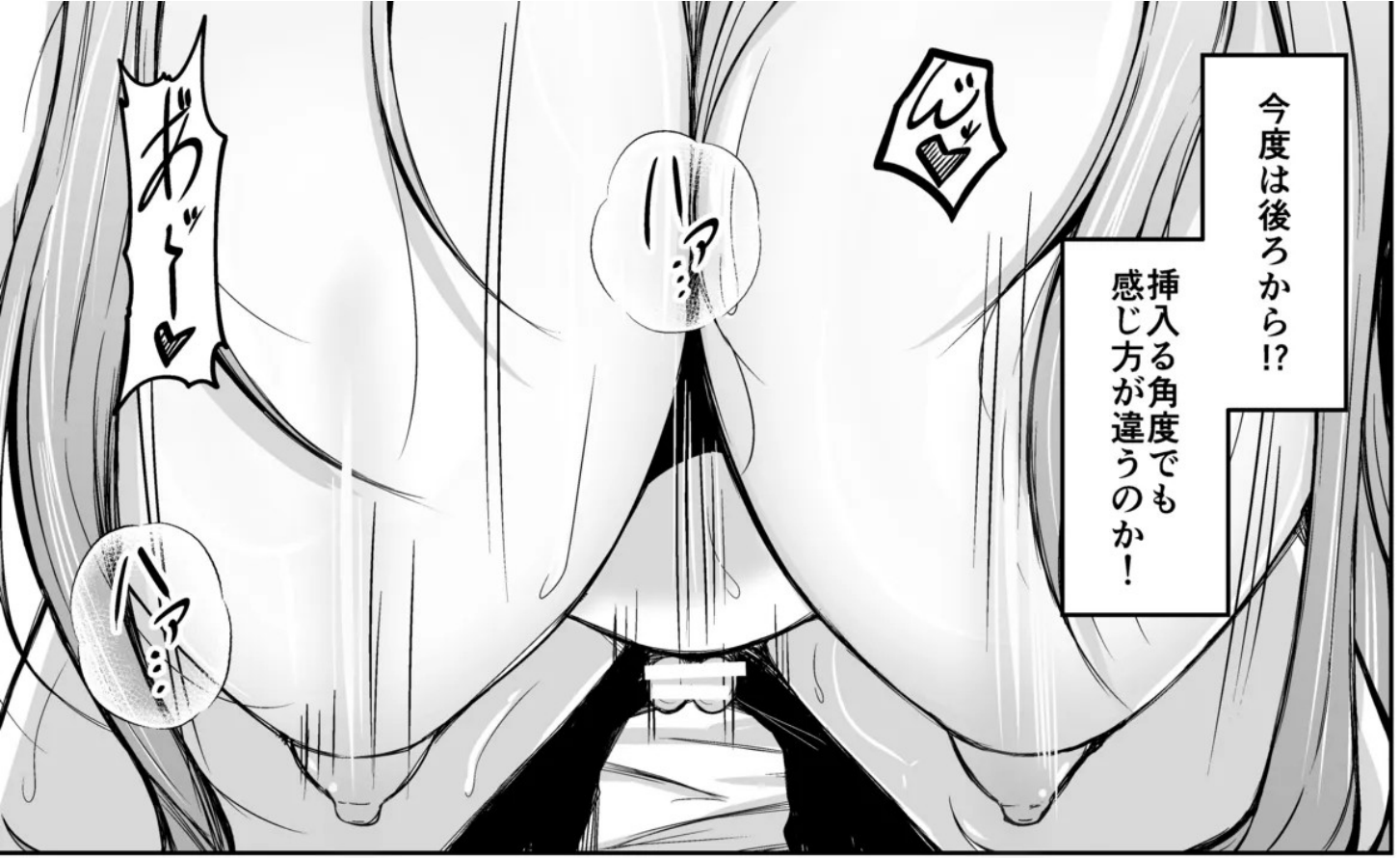
出せ!
膣内に出せっ!

ワシも
イキそうだっ!

私、何で自ら
こんな事を?

……んっ♡

いや……ダメ!



今度は後ろから!?

挿入る角度でも
感じ方が違うのか!



何かくるっ!
股間が熱く……

いや……ダメ!

出せ!
膣内に出せっ!

ワシも
イキそうだっ!

女の身体……
凄すぎるっ!

これが夢見た
女の絶頂！

ん
ん
ん

あ
ん

私、なんて事を……。





あの時、私は
どうかしていた。

一瞬でも男としての
欲望に溺れ

自分自身を
汚してしまった事を
酷く後悔した。



アイツの目を盗んで
財産をお父様の
元へと流した。

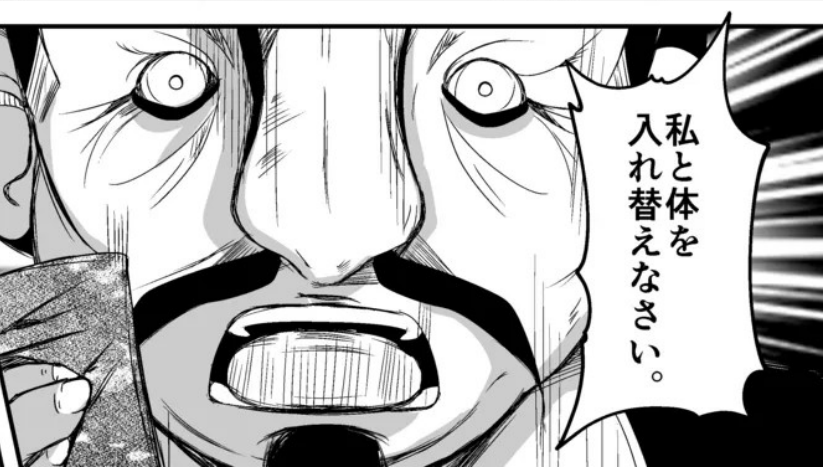


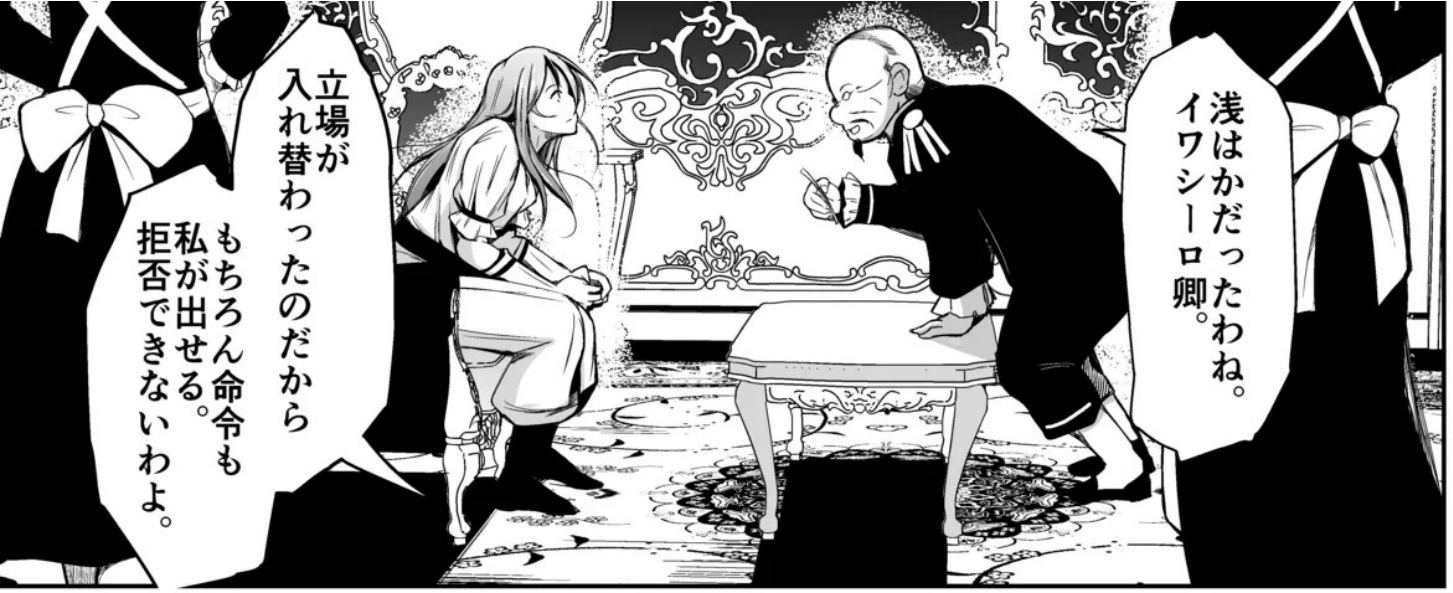
しかし今は
過ぎたことを
悔やんでいる
時間はない。

メイド達と連携し
私は



そして14日後。





浅はかだったわね。
イワシーロ卿。

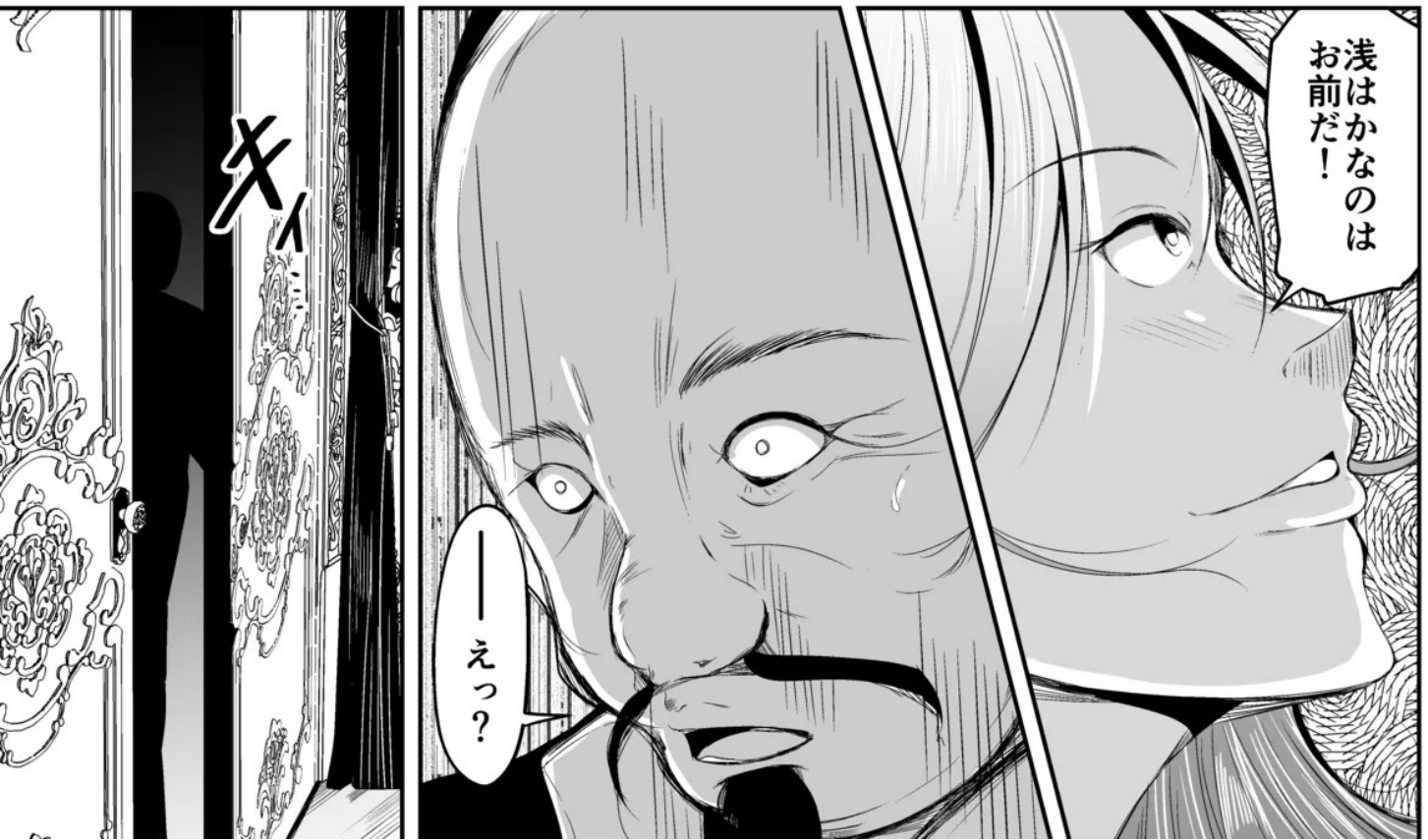
立場が
入れ替わったのだから

もちろん命令も
私が出せる。
拒否できないわよ。



ククク。

流石は
世間知らずの
お嬢様だな。



浅はかなのは
お前だ！

——
えっ？

ク
ク
ク

イワシロー卿。

あなた様に
国家転覆罪の容疑が
かかっております。

そして、
その罪をトラウ卿へ
擦り付けていたことが
発覚しました。

お父様に？

違う！私は
イワシロー卿じゃない！

アイツが本物の
イワシロー卿です！

身体を交換
されたのです！

クーデターを
起こそうとしていた
証拠が見つかりました。

そんな嘘が
通用するとも？

ハッ……



よって、
イワシーロ卿。

先ほどのあなたの命令
私は聞けません。



例え主従関係にあらうと、
容疑者の命令は
断る権利があります。



妙なことを
仰いますね。

そのメイド達が
言っているのですよ。



貴方がクーデターを
画策していると。



そのメイドに
聞いてください！
真相がわかります！






ただいま！
お父様！お母様！

全てを手に入れた！

貴族と奴隸の入れ替わり
〜全てを手に入れた男〜

Normal.ver




私は王家に仕える
由緒ある「トラウ家」
の出身だった。

ある日、お父様は
謀反の疑いを
かけられ



極刑は
免れたものの流罪。

そして、
トラウ家は
没落した。



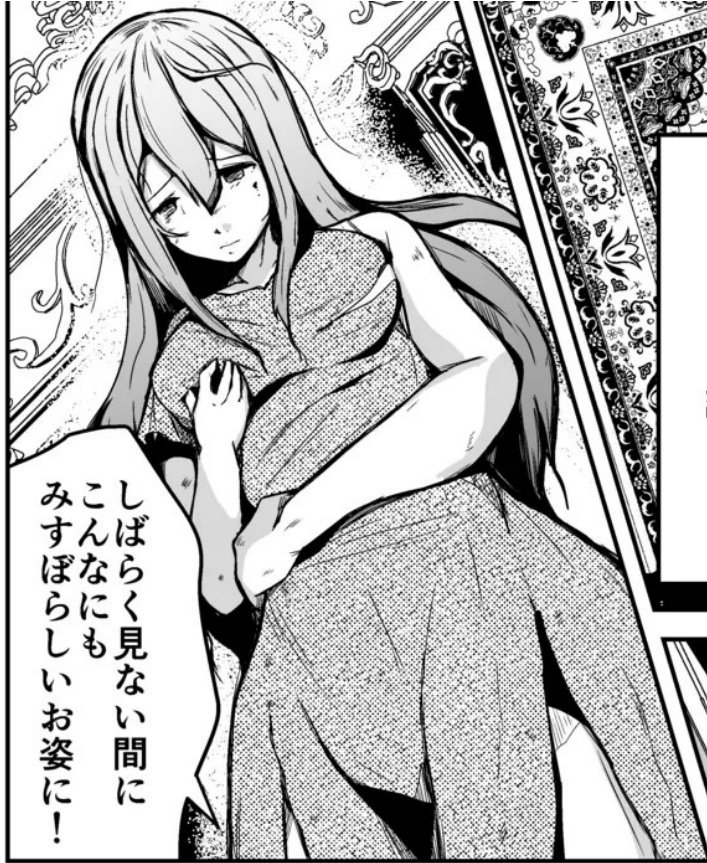
何者かの
謀略である事は
間違いないのに

私の力では
どうする事も
できなかつた。

路頭に迷い、
気づけば

私は

奴隷に
なっていた



しばらく見ない間に
こんなにも
みすぼらしいお姿に！

私の主は
お父様のライバルと
称された
「イワシーロ卿」だった。



さぞ
大変だったでしょう。



これはこれは。
ラナ嬢。



……ありがとうございます。
イワシーロ卿。



これからは、
ワシが面倒を
見てあげるから
安心なさい。



はっ!

おい!

それにしても
その格好は
いけませんな。

なんと
こんな男の
前で

裸体を晒し
そして

奴隷とはいえ
こんな姿で
働かせたくはない。

おお。
これはこれは。

Xッ

4/8

さすがに
美しい。

この国随一の美女と
謳われるだけの
事はある。ふひひ。

このような
姿を……！

ふひ。
仕事にも
色々種類があるからの。

もうすぐこの身体が
ワシのものに。

ふひひ。
ふひひ。

お前は黙って
ワシの命令に
従っていけばよいのだ。

あの……
この格好では
お仕事に支障が……。

何を
言ってるの……？

ところでラナ嬢。
知っておるか？

この世には
表に出ていない

魔術というものが
存在するのだが

—その中に

身体を入れ替える
契約魔術というものがある。

まさか……？

さて、ラナ嬢。
これから契約の元、

互いの身体を
入れ替える。

ワシがラナ嬢に。
ラナ嬢はワシに
なるのだ。



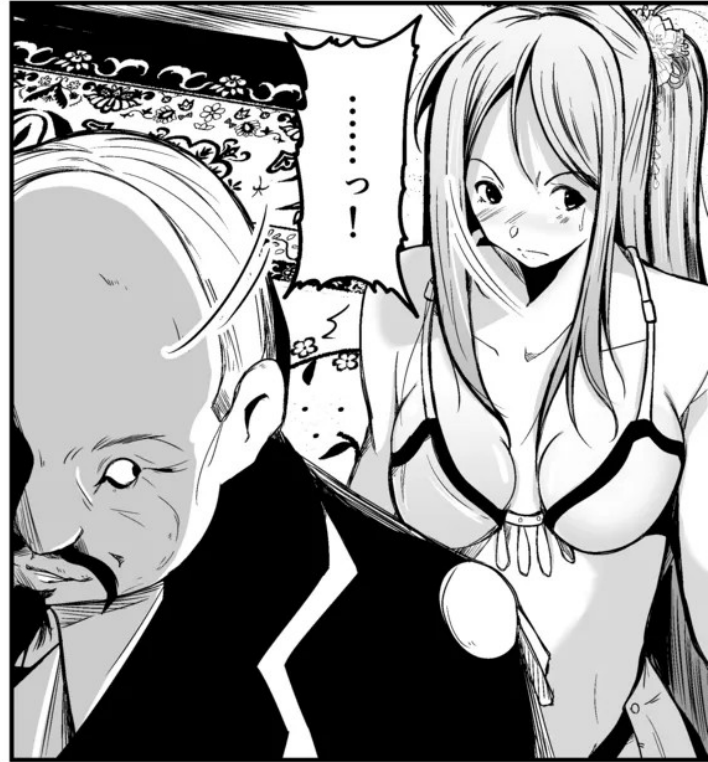
そんな！
それはできません！

奴隷のお前は
ワシの命令を
拒否できない。

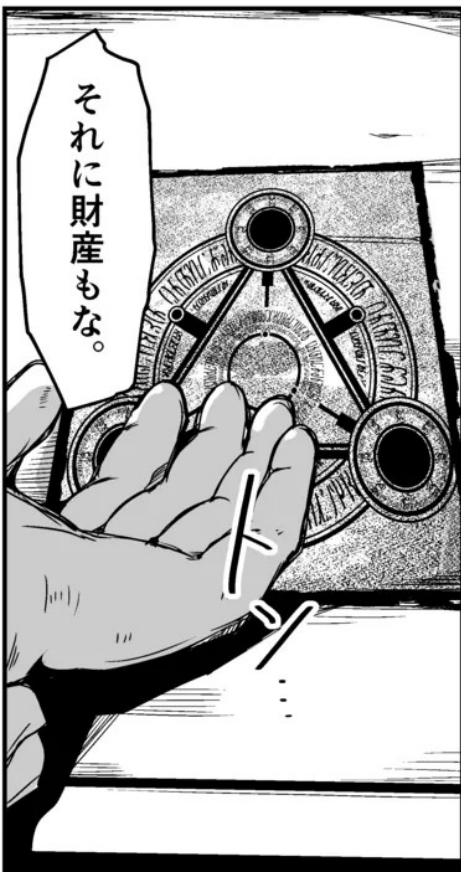
そのくらい
わかるだろう？



それにそんな
悲観する事もないぞ。



……っ！



それに財産もな。



お前がワシに
なるといふ事は、

ワシを奴隷として
好き勝手
使えるという事。



それまでは我慢していただくことになるが



それでも悪い話ではなからうか?



契約上、立場の変更は14日体交換を履行される。

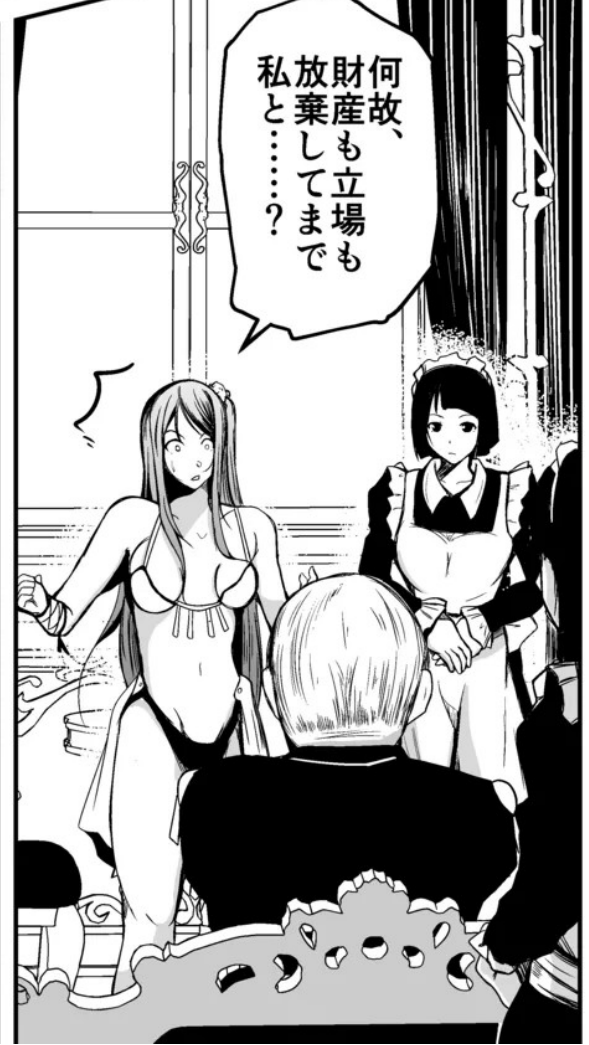


えっ!?



女の快感を知りたい。

全ての財を失ってでも……だ。



何故、財産も立場も放棄してまで私と……??

今まであらゆる女を抱いたが
どの女も
気持ちよさそうに
よがる。

声が漏れる程に……
そんなにも
気持ちが良いのか？
女というものは？
だから女の快感を
知ってみたい。

それに
ワシは女の容姿が
好きだ。
自分の醜い体を
捨てて女になりたいと
常に願っておった。



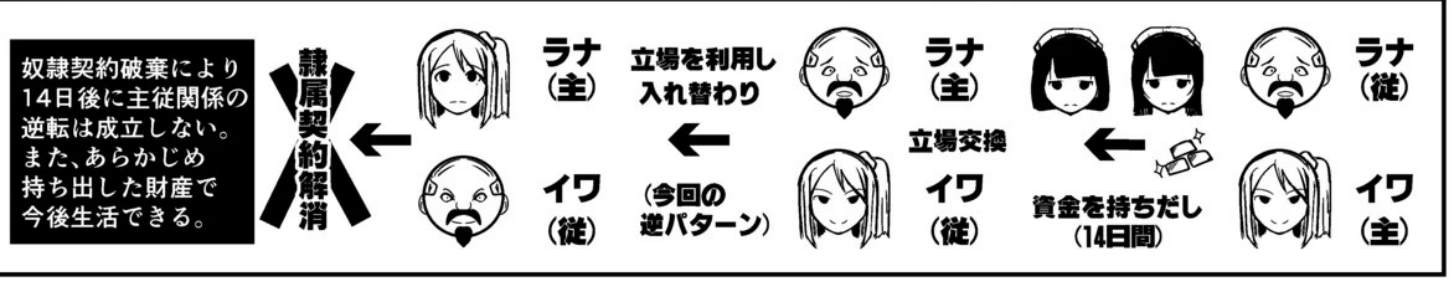
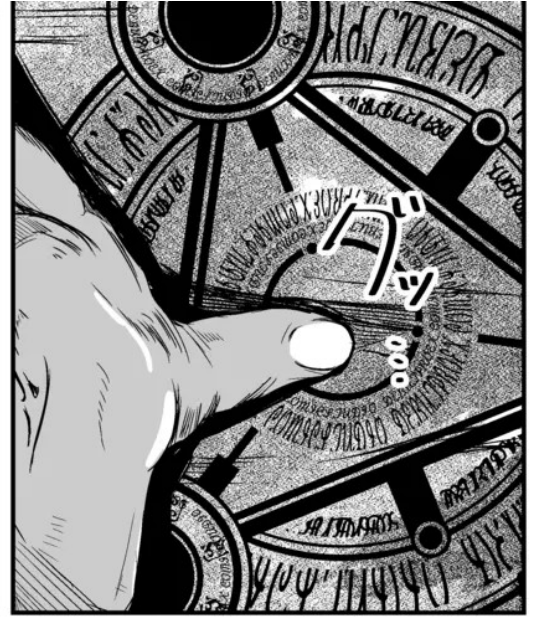
それだけの為に？

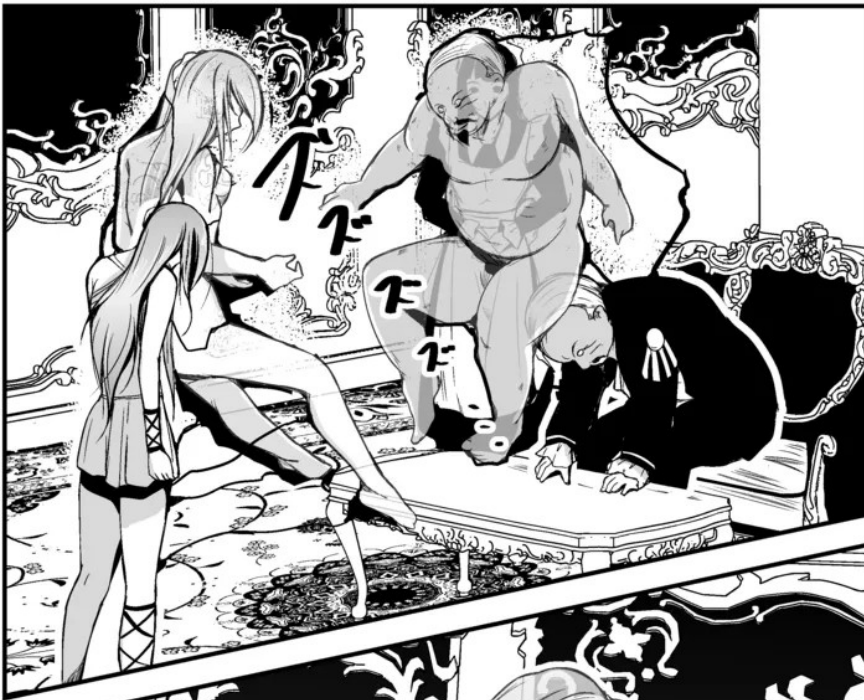
女の……しかも
絶世の美女と言われた
お前にはわかるまい！

それだけの為？

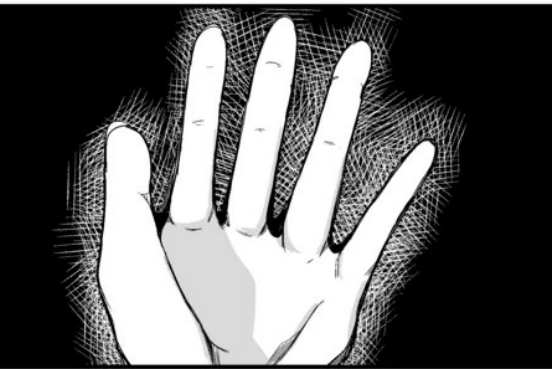
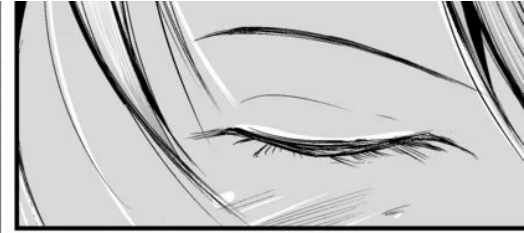
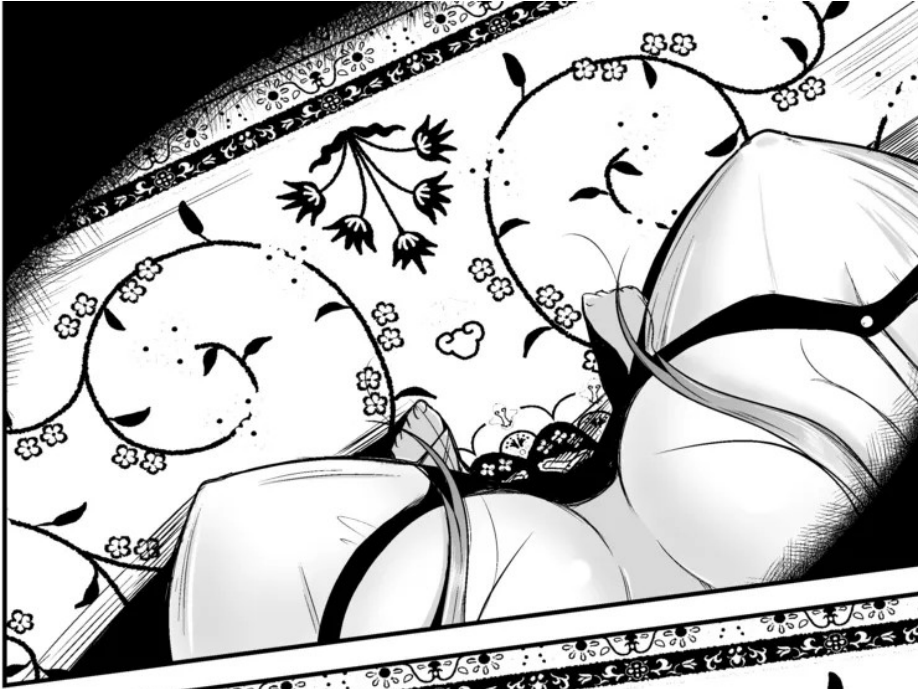
財だけでは
どうにもならないものが
あるという事を！











はあ。
これが女の……

スラリと伸びた脚

程よい弾力の胸

ラナの憧れた
嬢の身体。

そして……

ヒキ

ヒキ

ヒキ



これが女性器……。
ついに自分のものに。

ハァニ

ふひ。

ドキ

ドキ

ハァニ

ワシは本当に
女になったのだな。

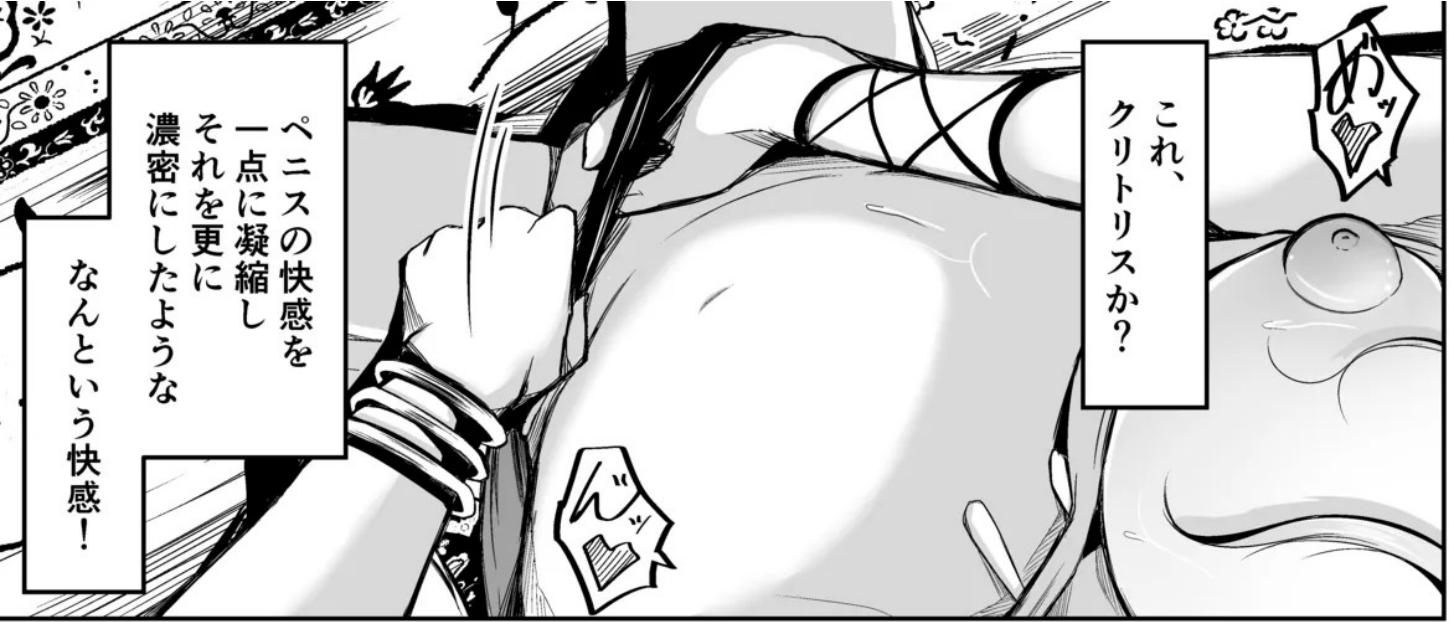
や……。やめて。

クリッ

はっあぁあぁっ！

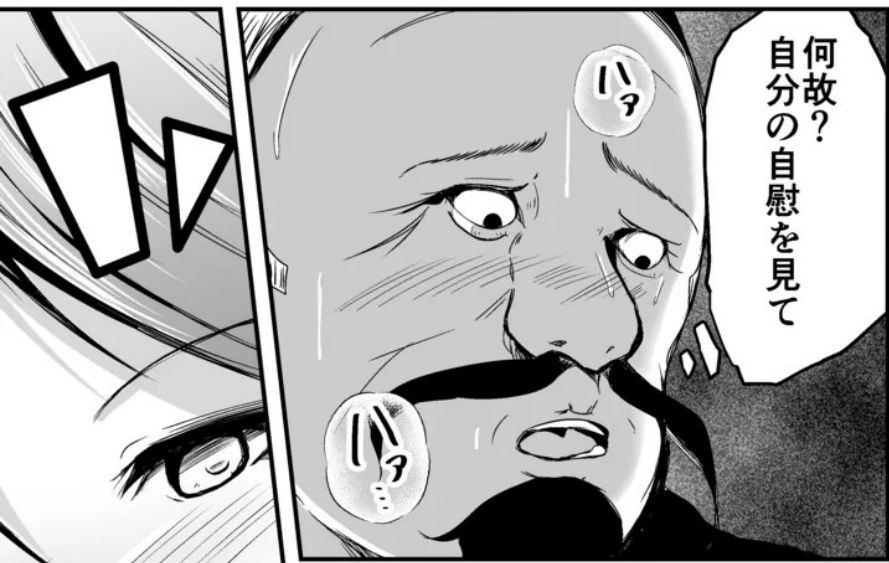
ガッ





これ、
クリトリスか？

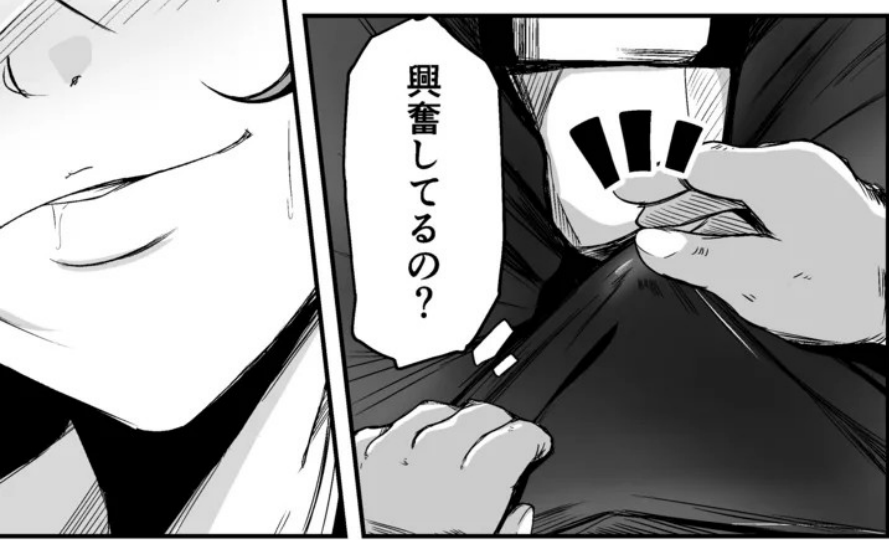
ペニスの快感を
一点に凝縮し
それを更に
濃密にしたような
なんという快感！



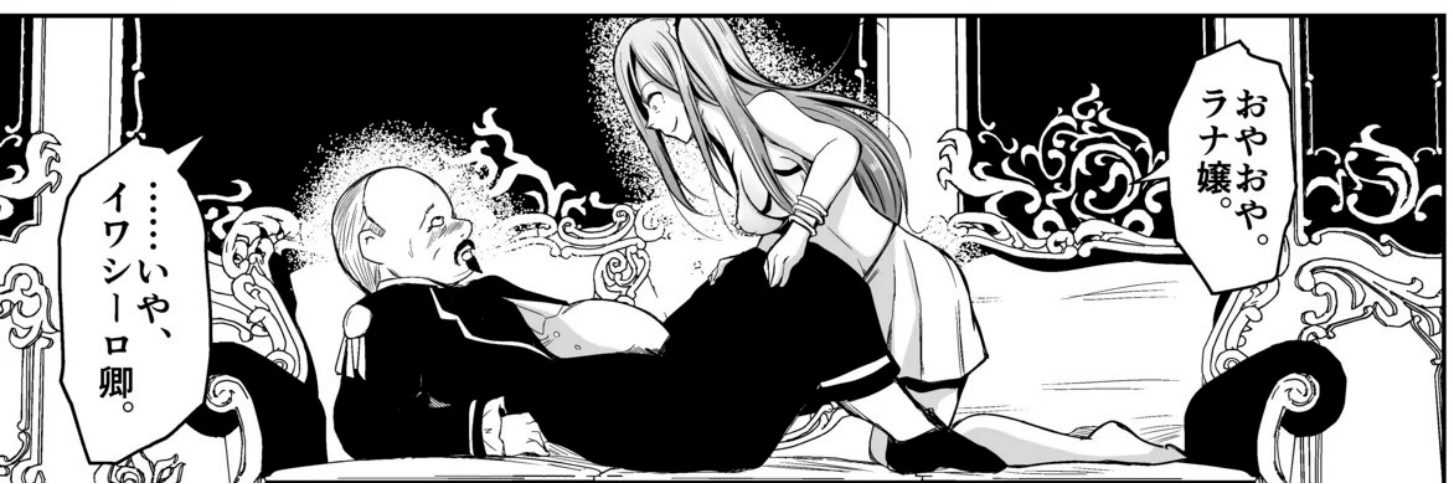
何故？
自分の自慰を見て



私、
どうしちゃったの？



興奮してるの？



おやおや。
ラナ嬢。

……いや、
イワシーロ卿。

見慣れたはずの
元自分の女性器に

随分と興奮を
覚えているようだね？

……まあ。

ワシのような
極上の女を目の前に

勃起するのは
男として
正常ではあるがね。

男として？
だ……誰がっ！

悪いが
少し待ちたまえ。

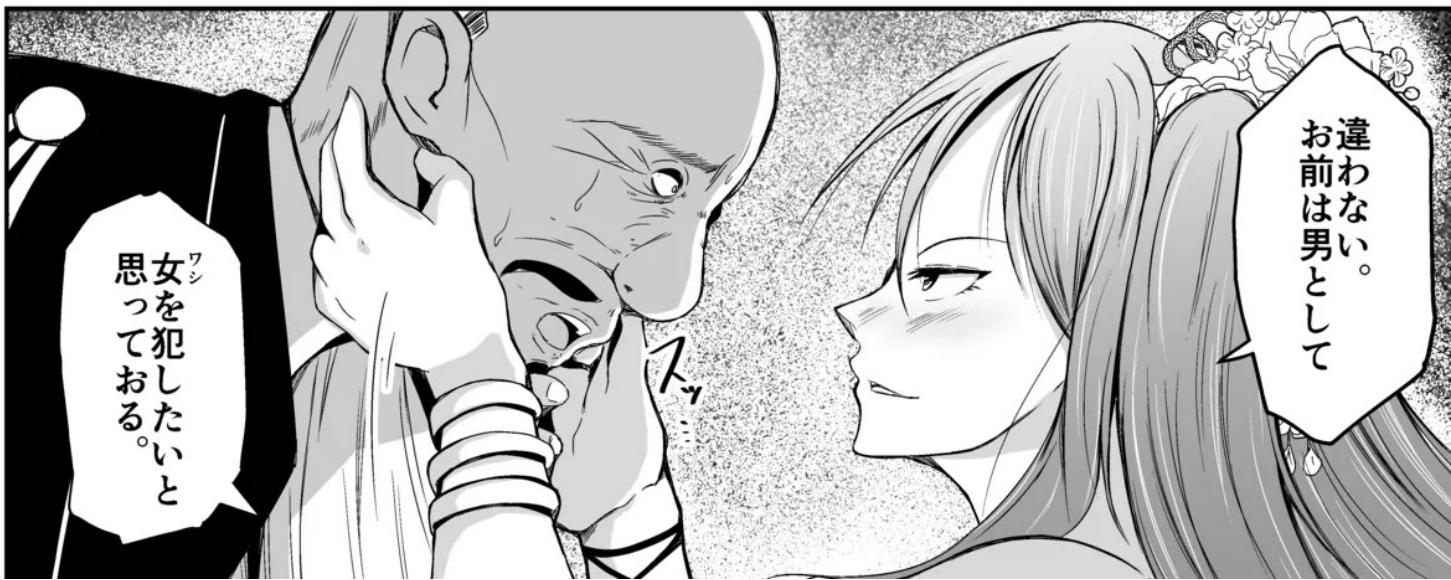
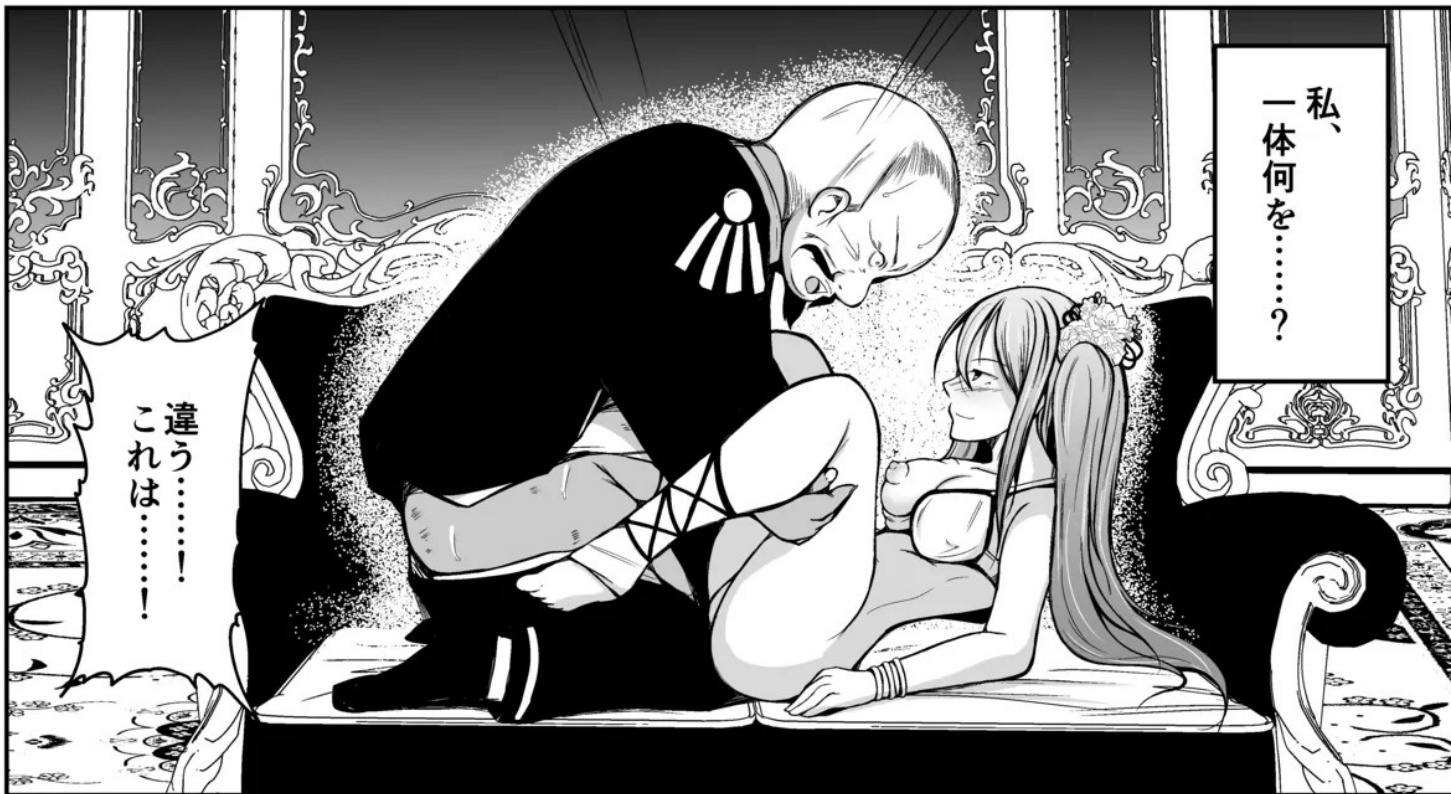
まだ、
ワシの方の準備が……

私のここ、
舐めてくださらない？

い……嫌っ！

しばあ

ああ。そうだわ。
イワシーロ卿。



ククク。

これからワシの
身体を

存分に……んっ……
楽しませてやるわ。

心配せずとも

くくく。
入ったあ……っ……♡

嫌……っ！

ハッ……

アッ……

アッ……



自ら腰を振って……
お前も……んっ……男を
随分と楽しんでいる
ようだな……っ♡

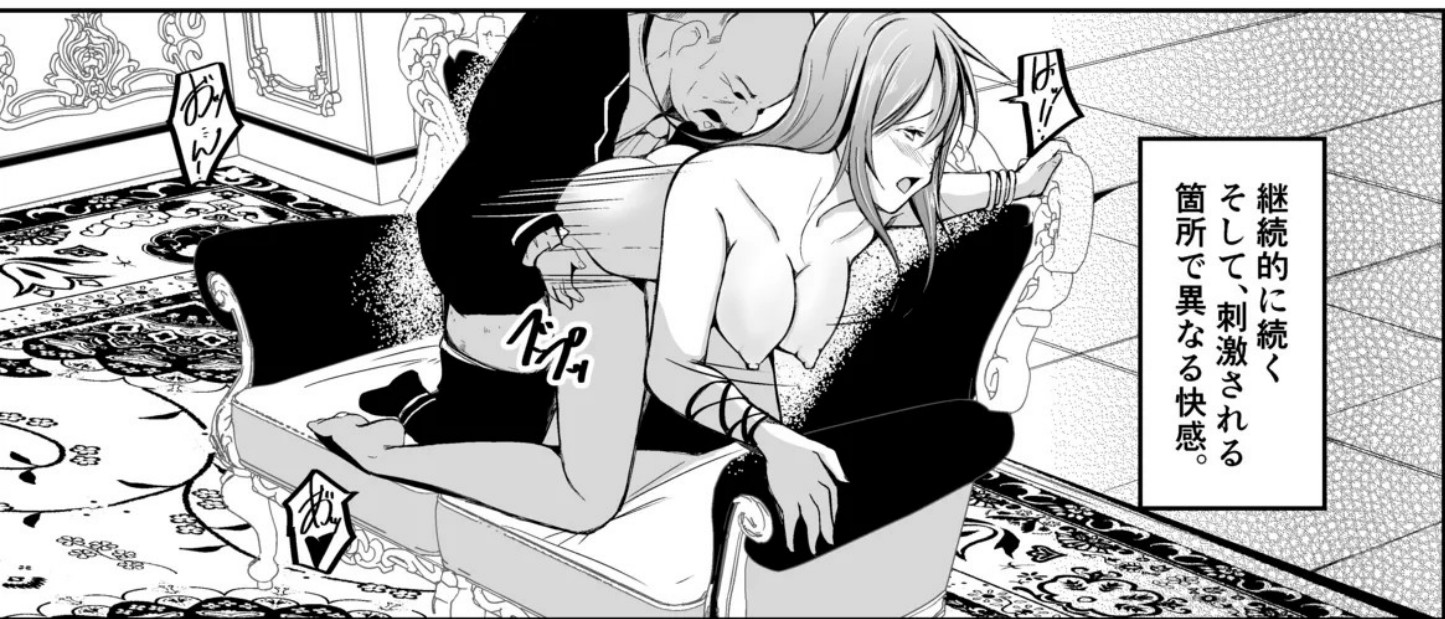




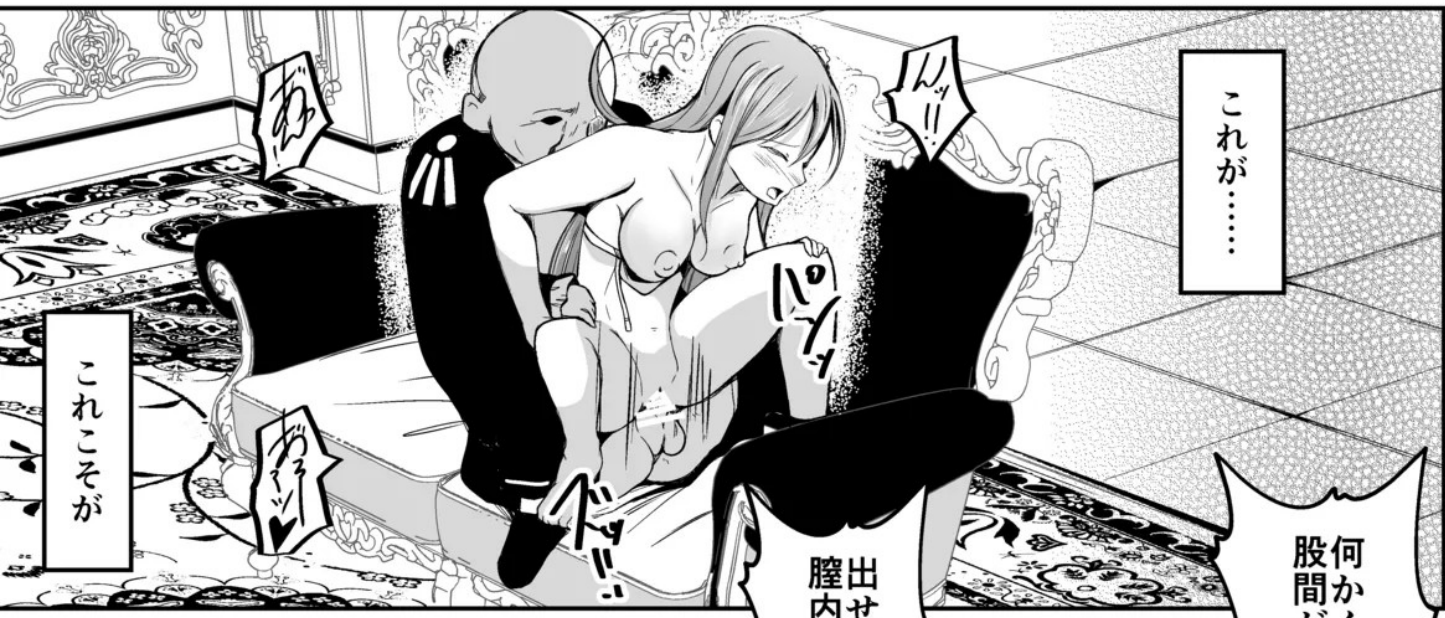


女の快感が
これ程とは……！

男であった事を
差し引いても
差があり過ぎる！



継続的に続く
そして、刺激される
箇所異なる快感。



これが……

これこそが

何かくるっ！
股間が熱く……

出せ！
膣内に出せっ！

ワシも
イキそうだっ！



ダメいや……

やっやっやっ

ワシの夢見た
女の絶頂！

ん
ん
ん

あ
ん

私、なんて事を……。



あの時、私は
どうかしていた。

一瞬でも男としての
欲望に溺れ

自分自身を
汚してしまつた事を
酷く後悔した。



アイツの目を盗んで
財産をお父様の
元へと流した。

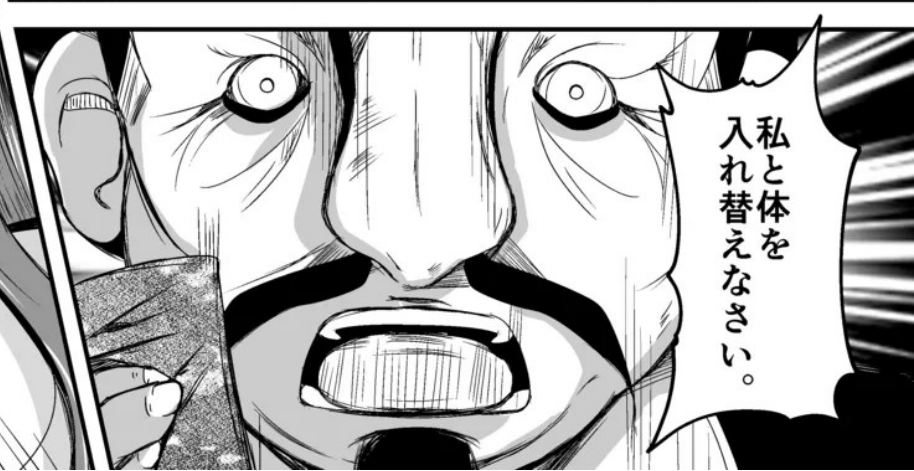
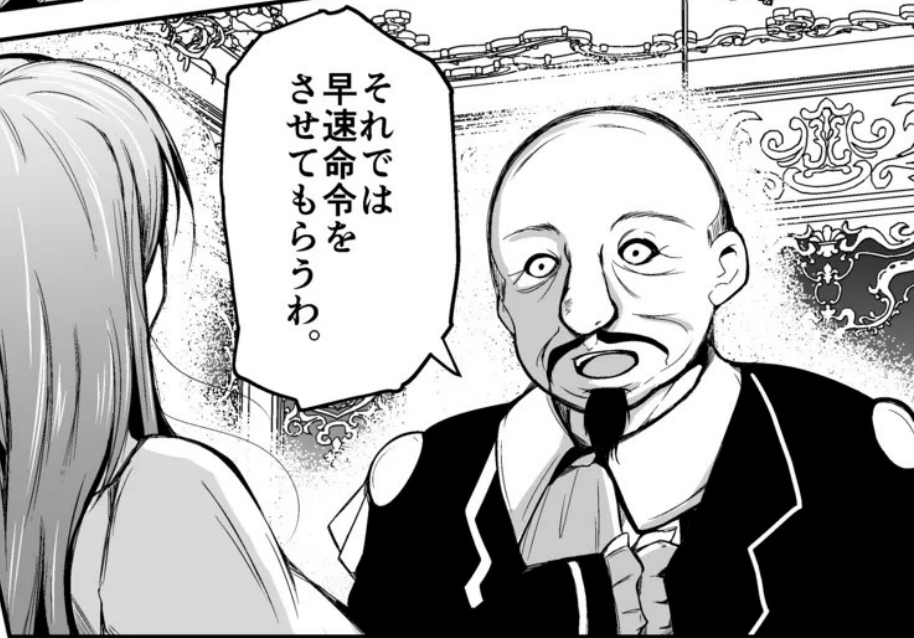


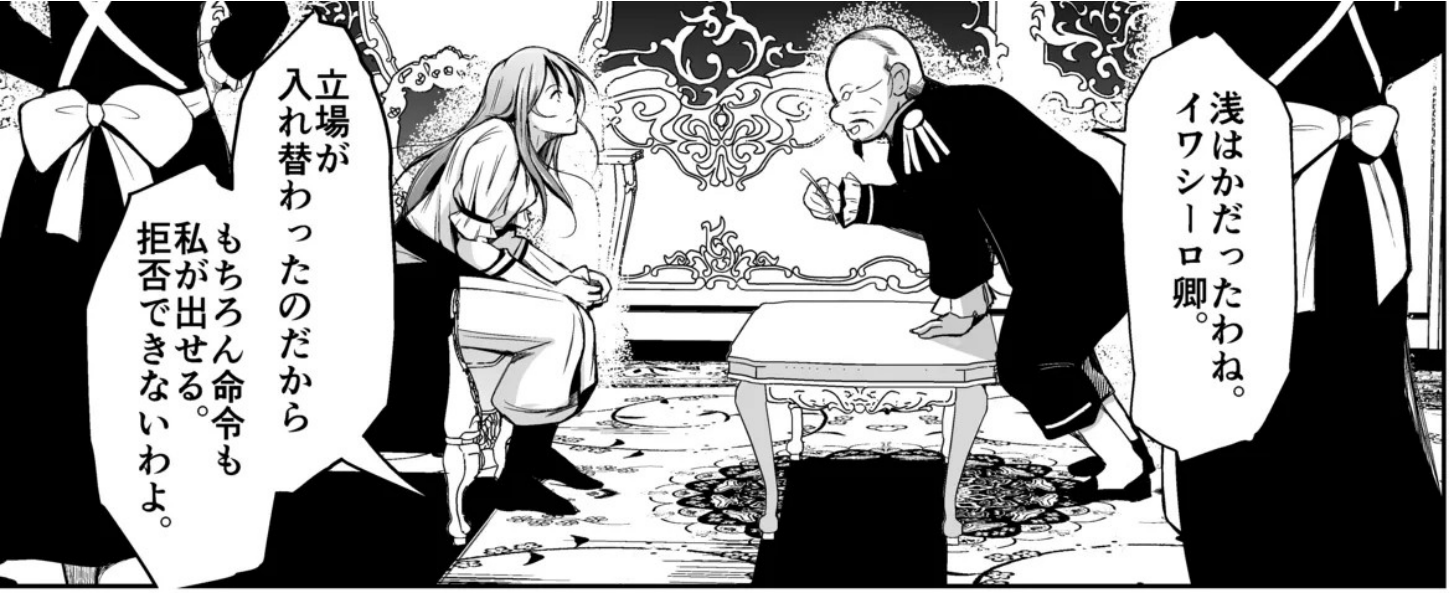
しかし今は
過ぎたことを
悔やんで
いる
時間はない。

メイド達と連携し
私は



そして14日後。





浅はかだったわね。
イワシーロ卿。

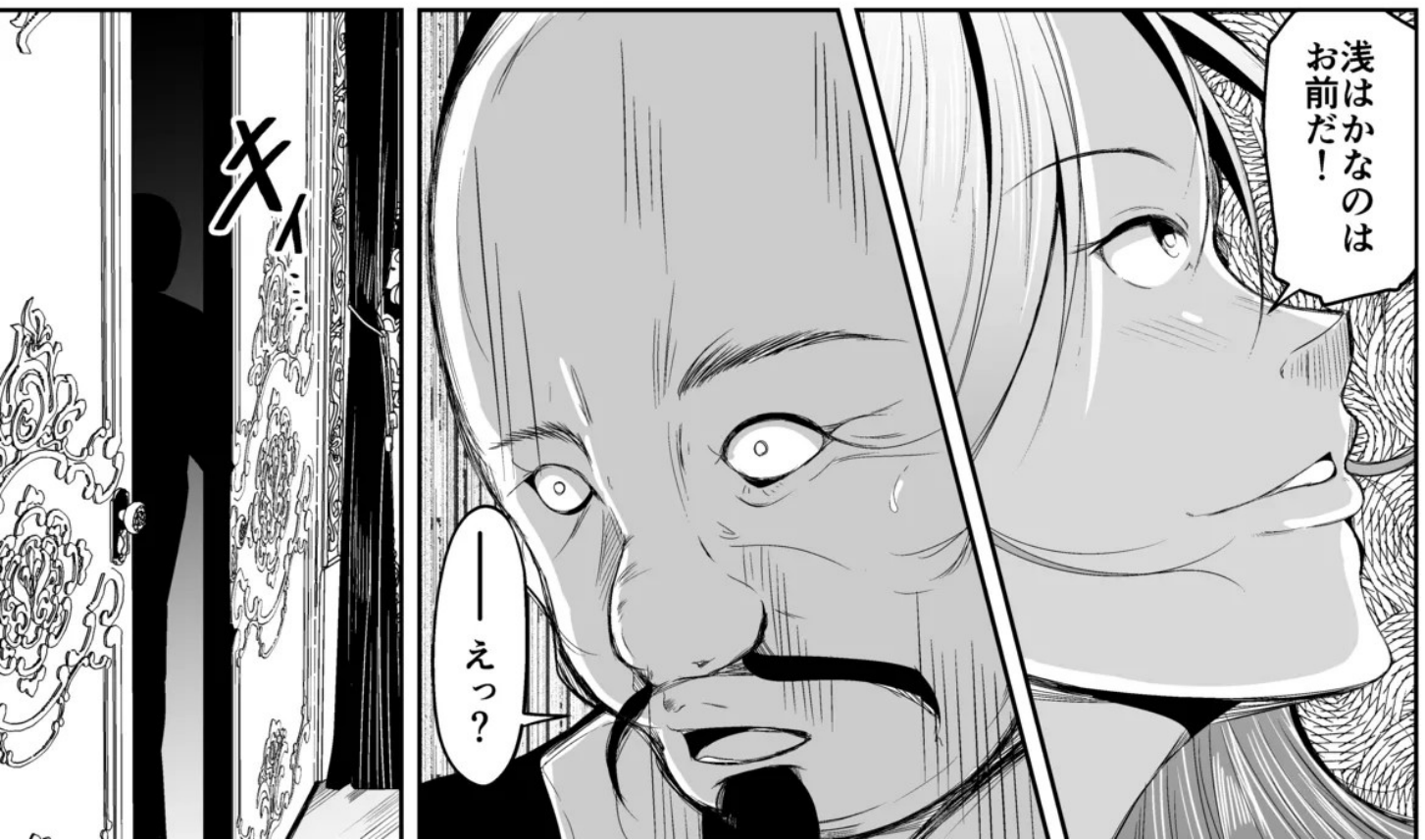
立場が
入れ替わったのだから

もちろん命令も
私が出せる。
拒否できないわよ。



ククク。

流石は
世間知らずの
お嬢様だな。



浅はかなのは
お前だ！

——
えっ？

ズン

イワシロー卿。

あなた様に
国家転覆罪の容疑が
かかっております。

そして、
その罪をトラウ卿へ
擦り付けていたことが
発覚しました。

お父様に？

違う！私は
イワシロー卿じゃない！

アイツが本物の
イワシロー卿です！

身体を交換
されたのです！

クーデターを
起こそうとしていた
証拠が見つかりました。

そんな嘘が
通用するとも？

ハッ……



よって、
イワシーロ卿。

先ほどのあなたの命令
私は聞けません。



例え主従関係にあらうと、
容疑者の命令は
断る権利があります。



妙なことを
仰いますね。

そのメイド達が
言っているのですよ。



貴方がクーデターを
画策していると。



そのメイドに
聞いてください！
真相がわかります！



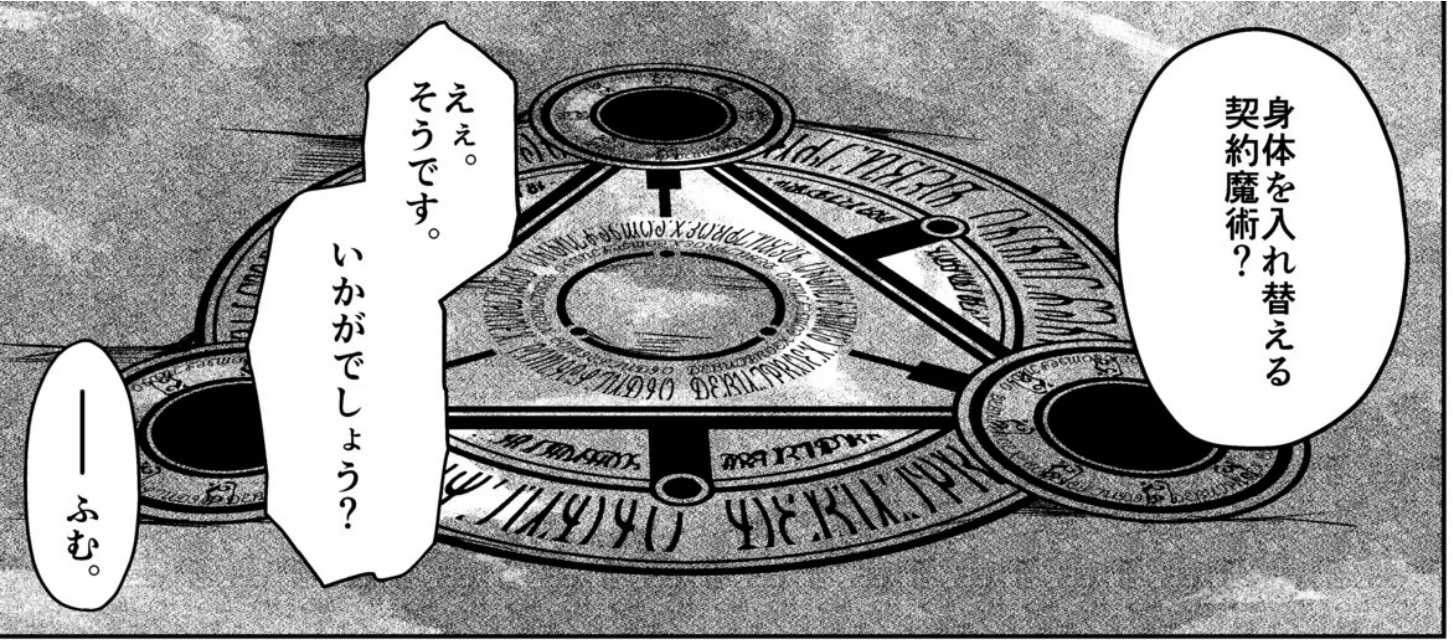


ただいま！
お父様！お母様！

全てを手に入れた！

貴族と奴隸の入れ替わり
〜全てを手に入れた男〜

Fanサ仆
限定短編



身体を入れ替える
契約魔術？

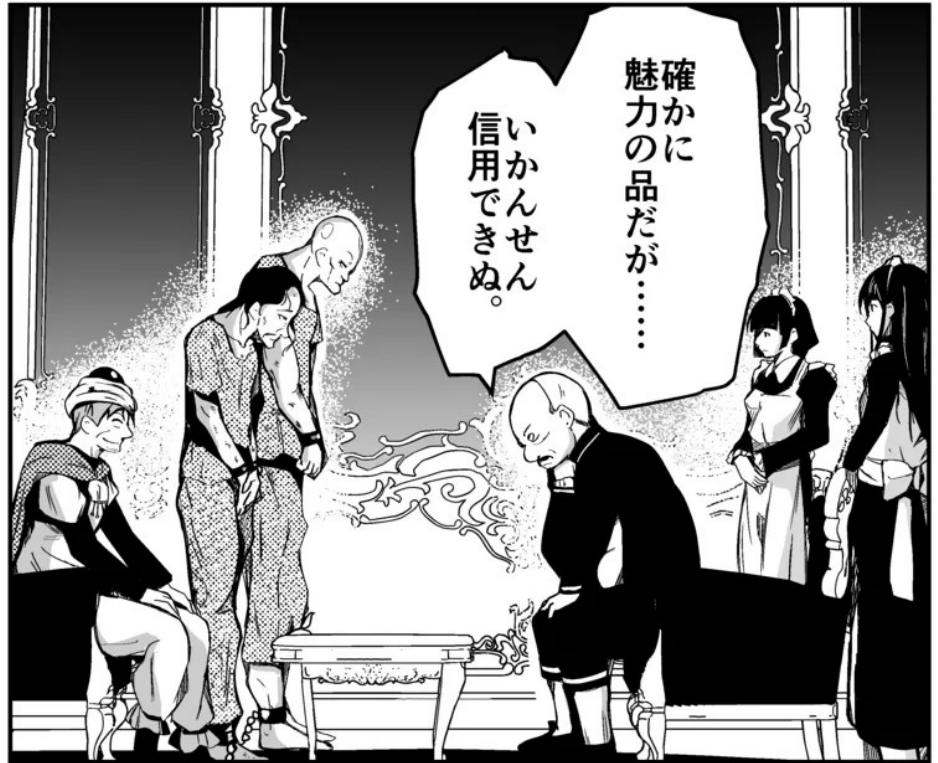
ええ。
そうです。

いかがでしょう？

——
ふむ。



……そうだな。



確かに
魅力の品だが……

いかんせん
信用できぬ。



……
察しが良くて
助かります。

そのために囚人を
連れ歩いている
のではないのか？

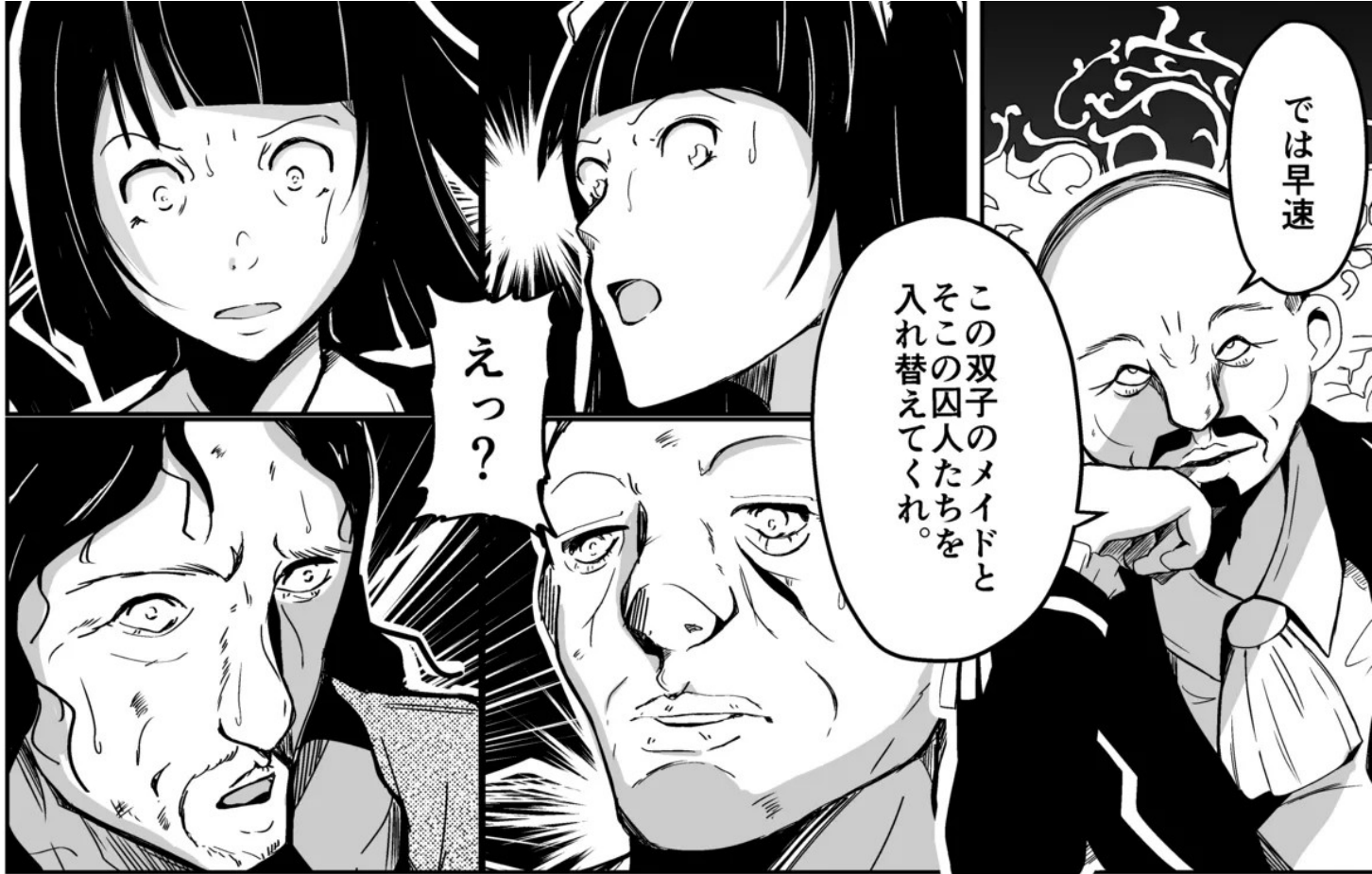
言わなくても
わかっているだろう？



実際に試して
いただけぬか？

もちろんです。

で、誰と誰を？



では早速

この双子のメイドと
その囚人たちを
入れ替えてくれ。

えっ？



どうだね？

君たちは刑を免れる。

ワシに仕える事
になるが……

生活は保障するし、

何よりも女の身体を
好き勝手出来る。

興味あるだろう？

ははっ！



では、
決まりですね。



悪くねえ！

自分が女になるのは
気乗りしねえが
好き勝手出来るってのは
たまんええな！



そんな！
ご主人様！

何でもします！
それだけはっ！

ククク！
知った事か！

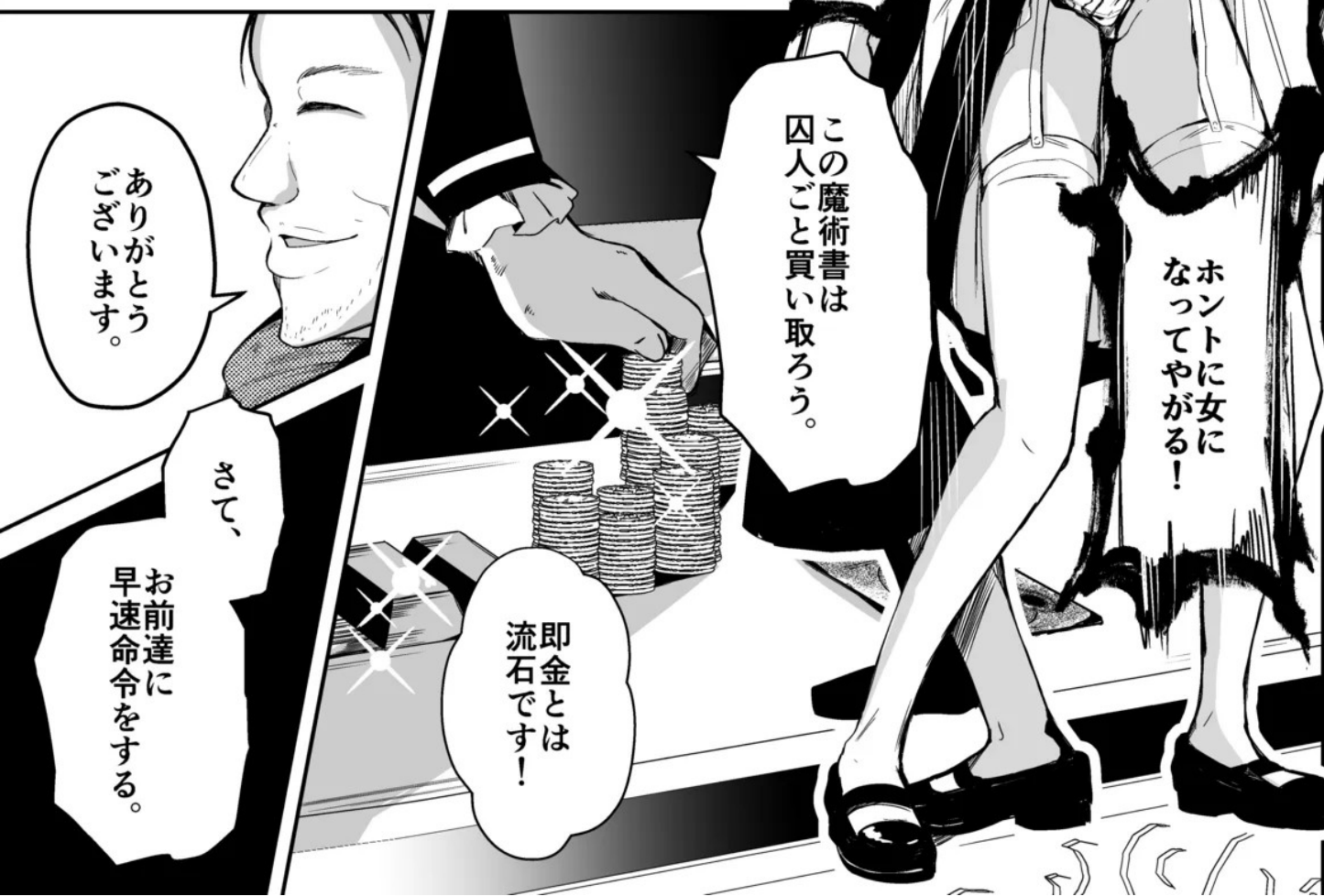
始めよ！



なるほど。

……本物のようだ。

うはは！



ホントに女に
なつてやがる！

この魔術書は
囚人ごと買い取ろう。

即金とは
流石です！

ありがとうございます。
ございます。

さて、

お前達に
早速命令をする。

兄貴い……
それ……やべえよ。

俺もだ。
たまんねえな。

……それにしても

ヘンタイな
ご主人様だぜ！

ふははっ！

やらせる
なんてな……っ！

まさか……
俺たちに……

こんなことを……





ああ……っ
これは、
たまらねえ……!!

ありがとうございます！
ご主人様！

どうだ？
男と比べて

女の快感
というものは。

女の身体
最高だぜえ……
なあ、兄弟。

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

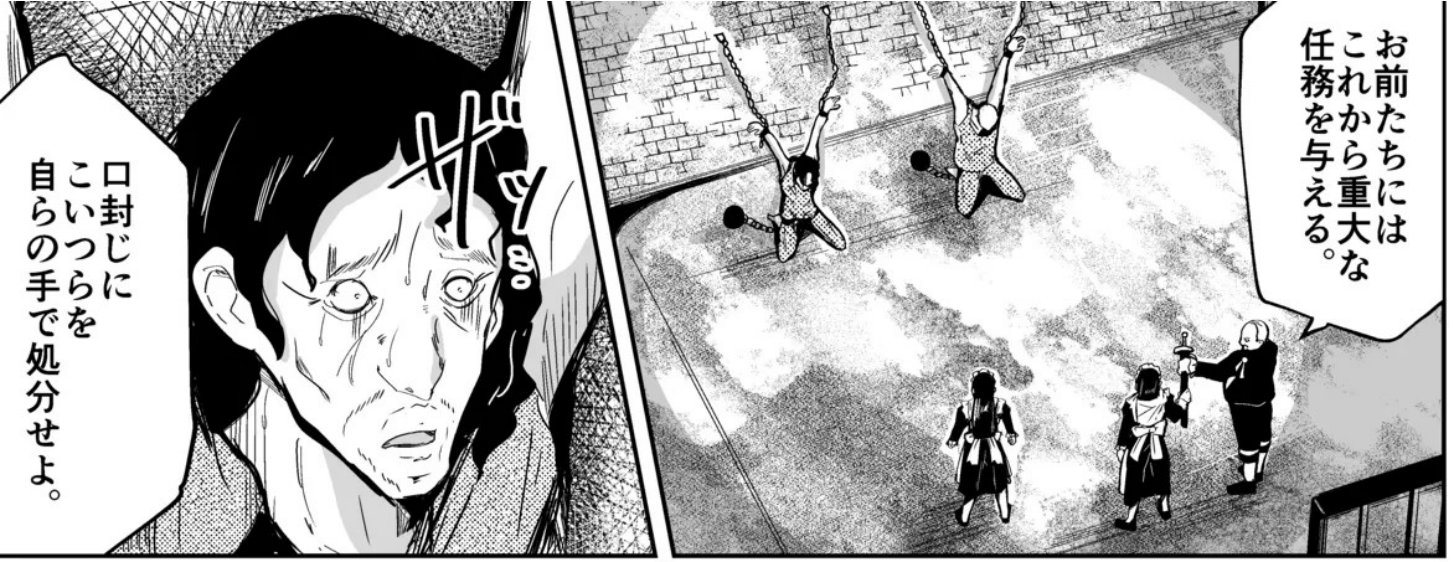
あーっ



女の快感
というものは
想像以上
かもしれぬな。



……なるほど。



お前たちには
これから重大な
任務を与える。

口封じに
こいつらを
自らの手で
処分せよ。



自らの手で
自らを……

たまんねえ！

なあ、その前に
こいつらで
遊んでも良いか？

……好きにせよ。

本題は
その後だ。



わしは、
トラウ家を、
……そしてラナ嬢の
身体を手に入れる！

その
手伝いをせよ！

しっかり
働いて貰うぞ。

承知しました。
ご主人様！

貴族と奴隸の入れ替わり～全てを手に入れた男～完全版

著者：いわした

pixiv:14897019

twitter:iwashitan

web:<https://www.iwashitan.com>

いわした書店